

2章 インターネットを 楽しもう

- 1 インターネットとは？ 一始める前に 66
- 2 インターネットに接続する 72
- 3 インターネット エクスプローラ Internet Explorer の使いかた 88
- 4 知っていると便利なこと 97

1

インターネットとは？ －始める前に－

1 インターネットとは？

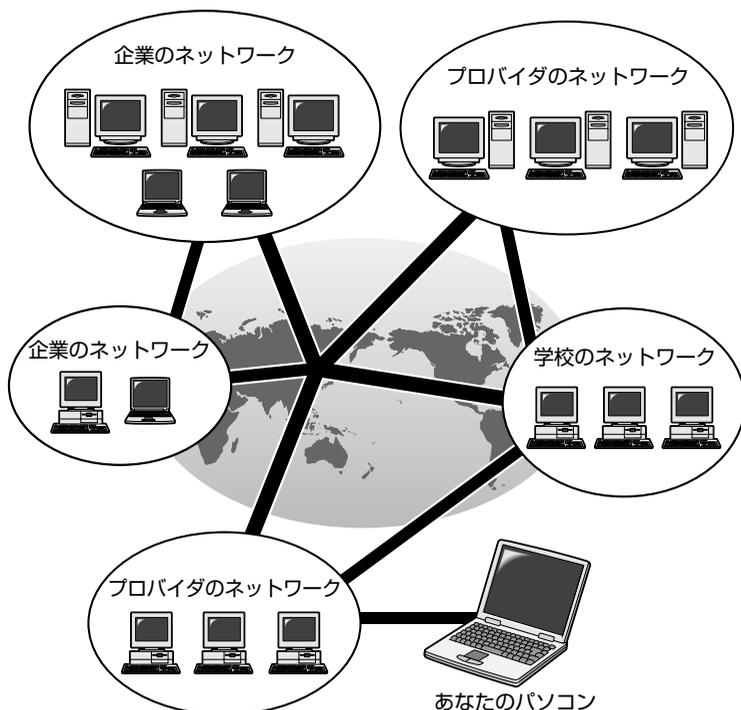
インターネットとは、世界中のコンピュータを接続する巨大なコンピュータネットワークです。

企業、学校、プロバイダなどの小規模のコンピュータネットワーク同士が接続して、世界規模のコンピュータネットワークとなっています。

インターネットに接続すると、世界中のコンピュータに好きな時間にアクセスできるので、距離や時間を超えたコミュニケーションがインターネット上でできるようになります。



- **プロバイダ** ● パソコンとインターネットの接続サービスを提供する会社。正式には「インターネットサービスプロバイダ」という。個人でインターネットを利用する場合、必ずどこかのプロバイダに入会する必要がある。



2 インターネットのできること

インターネットでは次のようなサービスを利用できます。

ダブリュダブリュダブリュ
WWW

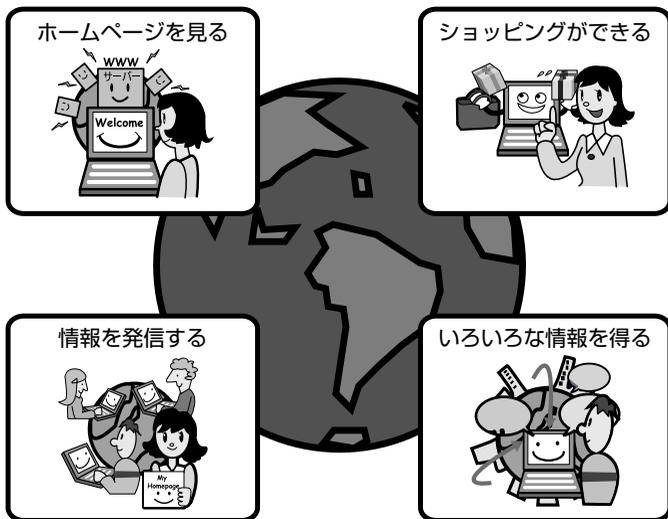
一般にホームページ、Web ページなどとよばれる文字や画像でできたページを見ることができます（以降本書ではホームページとよびます）。ページ中の文字や画像をたどっていくと次々とページが表示され、目的の情報にたどりつくことができます。ホームページを見るにはブラウザとよばれるアプリケーションが必要です。



- **ブラウザ** ● ホームページを見るためのアプリケーション。WWW ブラウザなどとも呼ばれる。



詳細について ⇨ 「本章 3 Internet Explorer の使いかた」



WWW サービスを利用して、インターネット上で行えることの具体例です。

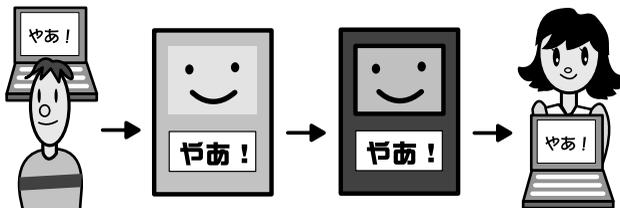
- ・ ゲームをする
- ・ ショッピングをする
- ・ チャットする
- ・ 自分のホームページを開く
- ・ チケットなどの予約をする
- ・ カラオケをする
- ・ ラジオを聴く
- ・ テレビを見る
- ・ ソフトを入手する (ダウンロードする)

電子メール

インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこにでも送れます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。

さらに画像や文書ファイルなどデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものとなっています。

参照  詳細について ⇨ 「3章 電子メールを使おう」

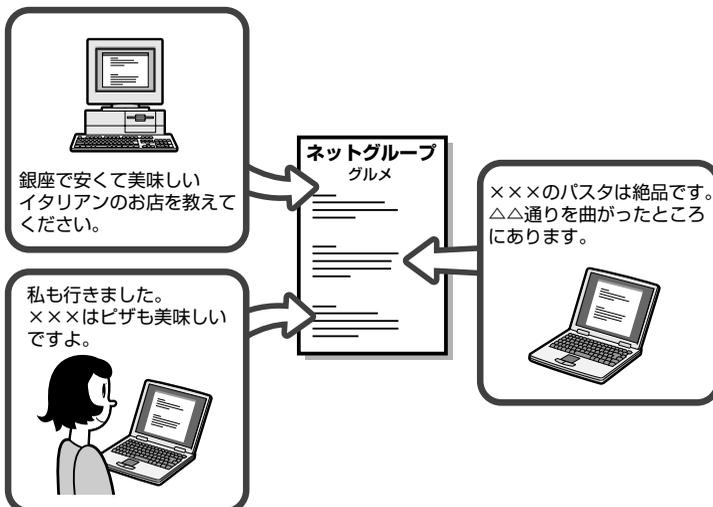


ネットニュース

さまざまなテーマごとにわかれたグループ（「ネットグループ」といいます）があり、他人と意見や情報を交換する場です。

ネットニュースにメッセージを投稿したり、投稿されたメッセージを読むには、ニュースリーダとよばれるアプリケーションが必要です。

参照  詳細について ⇨ 「Outlook Express のヘルプ」



3 インターネットに必要なもの

インターネットへ接続するためには次のものが必要です。

- 電話回線または PHS、携帯電話など
- モデム
本製品には内蔵されています。
- インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）
本製品には「Microsoft Internet Explorer」が用意されています。
- インターネット接続ソフト（PPP 対応接続用ソフト）
本製品には Windows に標準で付属しているダイヤルアップネットワークが用意されています。



- PHS、携帯電話で接続するには別途接続機器が必要です。
- より高速な通信を行いたいときは ISDN 回線、CATV 回線、xDSL 回線などのご使用をおすすめします。それぞれ、専用の装置が必要です。

4 プロバイダを選ぶ

個人でインターネットに接続するには、必ずプロバイダに入会する必要があります。

インターネットに接続する前にどのプロバイダに入会するかあらかじめ検討しておきましょう。

プロバイダを選択するときは、次のようなことをポイントにして選択するとよいでしょう。

- 接続する場所と同じ市外局番のアクセスポイントがある／アクセスポイントが多い
アクセスポイントの設置場所はプロバイダによって異なります。インターネットに接続するには電話料金がかかりますので、アクセスポイントが遠いと電話料金が高くなってしまいます。通常、接続する場所から最も近いアクセスポイントを選択します。また、外出先で多く使用する方には、アクセスポイントが多いプロバイダをおすすめします。



- **アクセスポイント** ● 各プロバイダが設置しているインターネットへの接続地点のこと。

●自分に適している料金プランがある

各プロバイダが色々な料金プランを提供しています。インターネットを利用する時間を考え、適したプランを選択しましょう。



詳細について ⇨ 「本節 5 インターネットにかかる費用」

●プロバイダが対応している通信速度を確認する

ダイヤルアップ先の接続が V.90 に対応していることを確認しましょう。



● V.90 (バイキュージュウ) ● 通信速度 56Kbps に対応した ITU (国際電気通信連合) が定めているモデムの規格。

●プロバイダが提供しているサービスを確認する

インターネット接続サービス以外にも色々なサービスが提供されています。インターネットの目的に合わせてサービスを確認しておきましょう。

サービスの例です。

- ・ コンテンツサービス 生活や趣味、インターネット活用法などのさまざまな情報を、プロバイダのホームページで提供しています。
- ・ メール／メール転送サービス プロバイダが用意しているメールサーバに接続することで、メールの送受信ができます。また、別のメールアドレスにメールを転送するよう設定しておくことができます。
- ・ ホームページ開設サービス インターネット上に自分のホームページを公開できるようになります。

●メールアドレスを指定できる

プロバイダによって、好きなメールアドレスを使える場合と、プロバイダから割り当てられたアドレスを使用する場合があります。あらかじめ確認しておくといでしょう。

●サポート体制が充実している

インターネットに接続するときエラーメッセージが表示され、接続できなくなることがあります。自分で解決できないときは、各プロバイダのサポートセンタに問い合わせることになります。サポートセンタの営業時間なども考慮に入れるといでしょう。

5 インターネットにかかる費用

インターネットに接続すると、電話会社へ支払う電話料金と、プロバイダへ支払う利用料金がかかります。

インターネットをどれくらい使うかを考え、料金体系を選択しましょう。

プロバイダの料金体系の例です。

●従量料金制

プロバイダに接続した時間に応じて課金されます。

インターネットを短時間利用する人におすすめします。

●固定料金制

プロバイダに何時間接続しても、支払う料金は定額です。

インターネットを長時間利用する人におすすめします。

メールチェック中心など、短時間の利用の場合は割高になります。

●基本料金+従量料金制

ある規定の接続時間までは固定、時間を越えた分だけ従量料金として課金されます。

最も一般的な料金体系です。

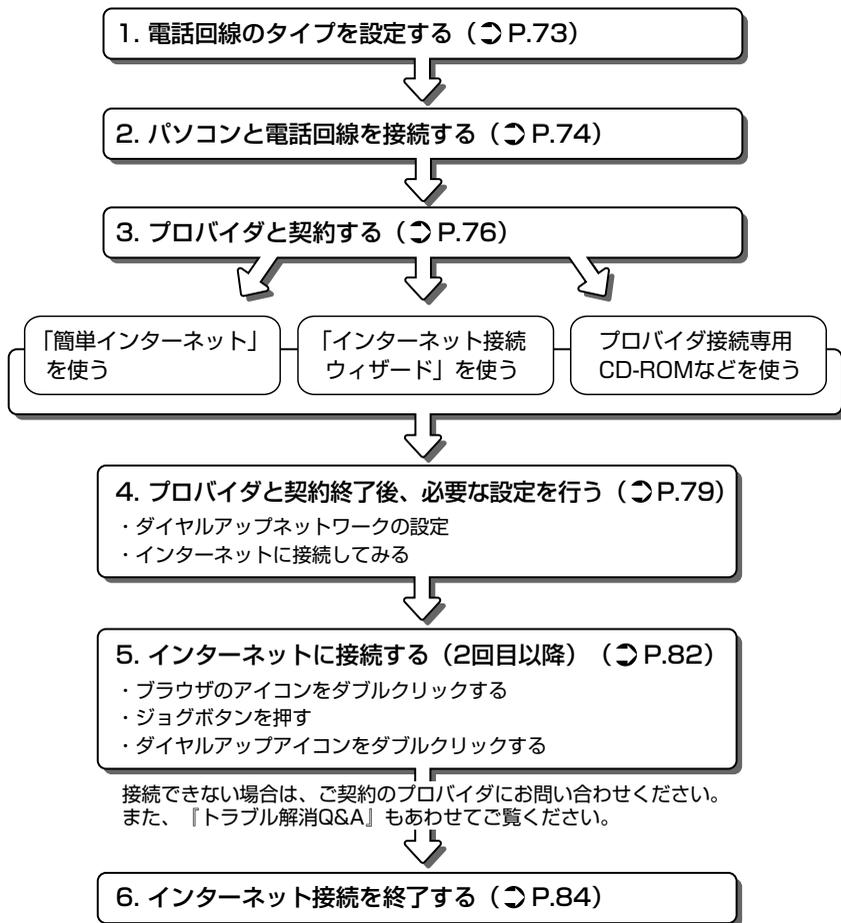


- プロバイダによっては、電話料金とプロバイダの利用料金をセットにして提供しているプランもあります。

2

インターネットに接続する

次の流れで行います。



1 電話回線のタイプを設定する

1 お使いの電話回線のタイプを確認する

プッシュ式電話をご使用の場合、ダイヤルボタンを押したときに
出る音で電話回線のタイプを確認してください。

パルス ダイヤル式電話機、ダイヤルボタンを押すと「ブツブツ」と音がするプッシュ式電話機をご使用の場合

トーン ダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がするプッシュ式電話機、ISDN 回線をご使用の場合

- 電話回線のタイプが不明な場合は電話会社にお問い合わせください。

2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックし、[テレフォニー] アイコン () をダブルクリックする

[コントロールパネル] 画面に [テレフォニー] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

3 [所在地情報] タブで、必要な設定を行う



外線電話をかけるときに必要であれば入力する
ダイヤル先が
市内のとき: [市内通話] に必要な番号を入力する
市外のとき: [市外通話] に必要な番号を入力する

手順1で確認した電話回線のタイプ (パルスかトーン) をチェックする



● 外線発信番号について

「0」などをダイヤルしてから外線につなぐ場合、その数字や記号を半角で入力します。

外線番号に続けて「, (カンマ)」を入力すると、カンマ1個につき約2秒間のダイヤル待ち時間を設定できます。うまくつながらない場合は、「0,」「0,..」のようにカンマをつけて、ダイヤル待ち時間を長くして試してみてください。

4 [OK] ボタンをクリックする

2 パソコンと電話回線を接続する

パソコンと一般電話回線を接続します。

⚠ 注意

- ・内蔵モデムは使用できる地域が限定されます。指定以外の地域で内蔵モデムを使用すると故障のおそれがあります。使用できる地域をよくご確認のうえ、ご使用ください。
- ・内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）に接続して使用してください。デジタル回線（ISDN回線など）には接続できません。デジタル回線対応の公衆電話のデジタル側やデジタル式交換機（PBX）へ接続すると、故障のおそれがあります。ホームテレホンやビジネスホン用の電話回線には絶対に接続しないでください。



- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。
- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。

-  ● PC カード接続のハードディスクドライブまたは CD-ROM ドライブの動作中に、通信またはサウンド再生を行なった場合、次の現象が発生することがあります。
- ・通信回線の速度が遅くなる、通信回線が切断される、ダイアリングに失敗する
 - ・サウンド再生時に音飛びが発生する
- PHS または携帯電話などをお使いの場合は、『PHS、携帯電話に付属の説明書』をご覧ください。

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを 2 線式の電話回線に接続します。

内蔵モデムは、ITU-T V.90 に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 以外の場合は、最大 33.6kbps で接続されます。

本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロベニア、タイ、台湾、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、マルタ、南アフリカ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルグ、レバノン
(2001 年 3 月現在)

また、公衆回線網の通信規格は地域により異なりますので、ご使用になる地域にあわせて設定が必要です。ご購入時は「日本」に設定されています。

 詳細について  《オンラインマニュアル》

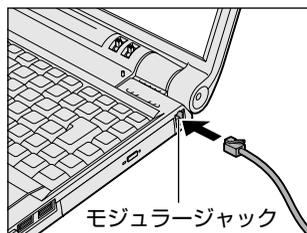
●自動再発信の制限

内蔵モデムは 2 回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を 2 回以下または再発信間隔を 1 分以上にしてください）。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話 端末）「自動再発信機能は 2 回以内（但し、最初の発信から 3 分以内）」に従っています。

モジュラーケーブルの取り付け

- 1 モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む
「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

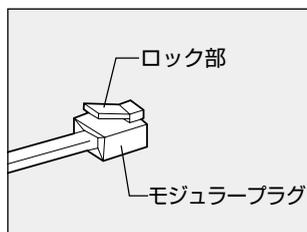


- 2 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む
ISDN回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ (TA) またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。

参照  ターミナルアダプタについて ⇨ 『ターミナルアダプタに付属の説明書』

取りはずすとき

取りはずすときは、モジュラージャックに差し込んであるモジュラープラグのロック部分を押さえながら抜きます。



3 プロバイダと契約する

プロバイダに入会するには、インターネット経由で行うオンラインサインアップで入会する方法と、書類をプロバイダから取り寄せ、郵送やFAXなどで入会する方法があります。

プロバイダと契約していなくても、オンラインサインアップを行うことができます。

ここでは、オンラインサインアップで入会するときの方法をいくつか説明します。

事前にクレジットカードをご用意ください。

オンラインサインアップで入会するときは、ほとんどのプロバイダでクレジットカードの番号などが必要です。

「簡単インターネット」を使う

プロバイダの一覧から簡単に選択することができます。

- 1 デスクトップ上の「簡単インターネット」アイコン（)をダブルクリックする
メッセージが表示されます。
- 2 パソコンと電話回線が接続されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックする
- 3 必要な内容を設定する

①入会したいプロバイダをチェック（をクリック）する



（表示例）

②ダイヤル方式を確認する
「本節 1 電話回線のタイプを設定する」で設定したタイプにチェック（）がついているか確認してください。

③外線発信番号の内容を確認する
「本節 1 電話回線のタイプを設定する」で設定した番号になっているか確認してください。

④設定が終了したらクリックする

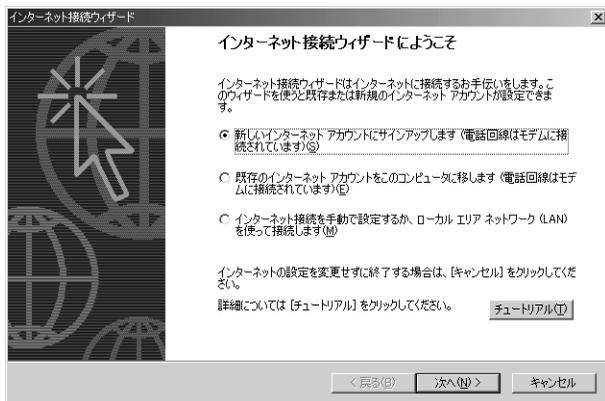
[接続開始] ボタンをクリックすると、選択されたプロバイダ専用の接続画面が表示されます。表示される内容に従って、オンラインサインアップを行なってください。

「インターネット接続ウィザード」を使う



- 「インターネット接続ウィザード」は一般の電話回線（アナログ回線）からのみ接続できます。
PHS、携帯電話、ISDN などからは接続できません。

- 1 [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [インターネット接続ウィザード] をクリックする画面が表示されます。



- 2 表示される画面に従って設定を行う

プロバイダ接続専用 CD-ROM などを使う

あらかじめ入会したいプロバイダの接続ソフトが収録してある CD-ROM などを入手しておきます。

- 1 パソコン本体に CD-ROM をセットする
- 2 表示される画面に従って設定を行う

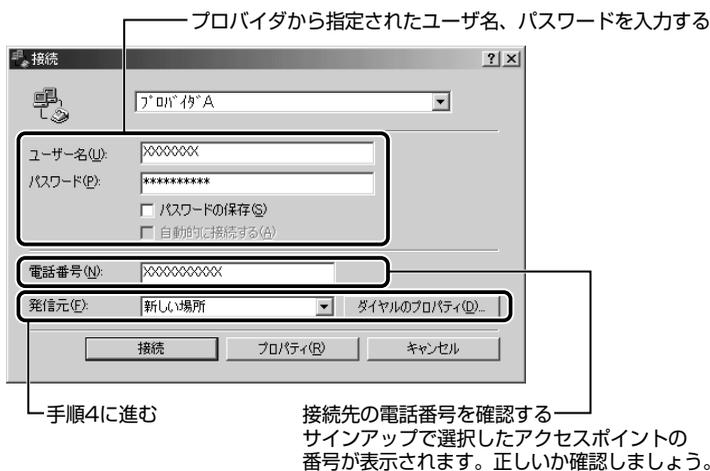
4 プロバイダと契約終了後、必要な設定を行う

プロバイダとの契約が終了した後、プロバイダによっては、パソコンへの設定が必要です。プロバイダによって設定内容は異なりますので、詳細が不明な場合は、プロバイダにお問い合わせください。

接続する前に

接続する前に、次の内容を入力または確認することをおすすめします。接続先や発信元に関する内容です。すでに設定されている項目もあります。

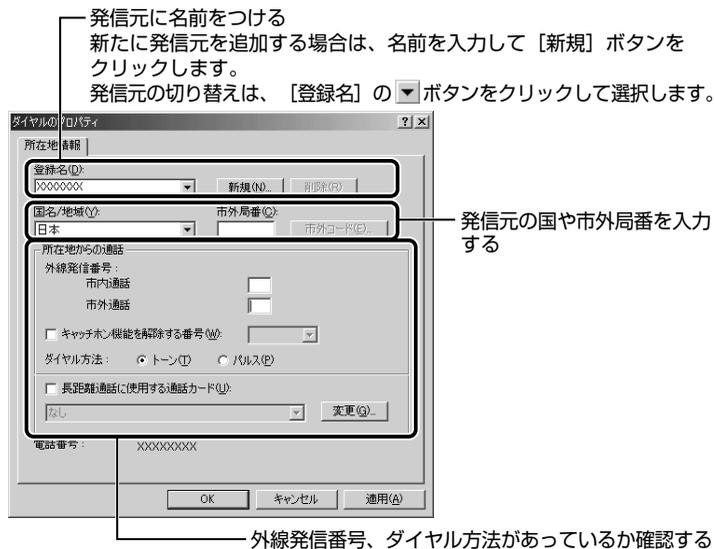
- 1 [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 2 [XXXX (接続先)] アイコン () をダブルクリックする
- 3 [接続] 画面で必要な設定を行う



- [パスワードの保存] をチェック () すると、次回以降接続するときにパスワードの入力が不要になります。ただし、パスワードを入力せずに誰でも接続できるので、安全性が低くなります。

4 [ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックする

発信元の情報を設定します。



参照 ダイヤル方法、外線発信番号について

○ 「本節 1 電話回線のタイプを設定する」

5 [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

以上で設定は完了です。

すぐにインターネットに接続する場合は、続けて「インターネットに接続してみる」をご覧ください。

インターネットに接続してみる

設定が完了したら、実際にインターネットに接続してみます。

[接続] 画面が表示されていない場合は、[スタート] → [設定] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックし、[XXXX (接続先)] アイコンをダブルクリックしてください。

1 [接続] 画面で、[接続] ボタンをクリックする

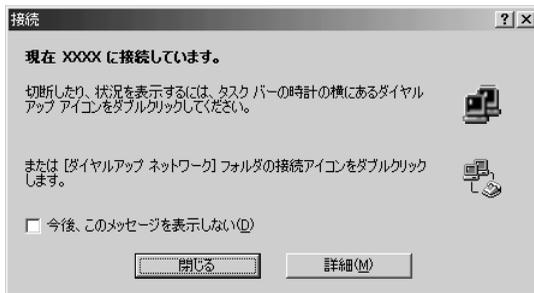


インターネットへの接続が開始されます。

接続中は次のような画面が表示されます。しばらく時間がかかる場合もあります。



接続が成功すると、次の画面が表示され、タスクバーに [接続中] アイコン () が表示されます。



- [メモ] [接続中] アイコン () が表示されている間は、電話料金がかかります。

2 内容を読んで [閉じる] ボタンをクリックする

これでインターネットへの接続は完了です。

ホームページを見たいとき

デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン () をダブルクリックすると「Internet Explorer」の画面が表示されます。アドレスを入力したり、検索機能を使って好きなページを見てみましょう。



「Internet Explorer」の使いかた

▷ 「本章 3 Internet Explorer の使いかた」

メールをしたいとき

メールをするには、初めに設定が必要です。



電子メールの設定について ▷ 「3章 電子メールを使おう」

5 インターネットに接続する (2回目以降)

プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了している場合の接続方法です。あらかじめパソコンと電話回線が接続されているか確認ください。



接続方法 ▷ 「本章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

インターネットに接続する場合は、必ず [接続] 画面が表示され、必要な情報を入力または確認します。

ここでは [接続] 画面を表示する代表的な方法を説明します。

方法1 ブラウザのアイコンから接続する

1 デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン () をダブルクリックする

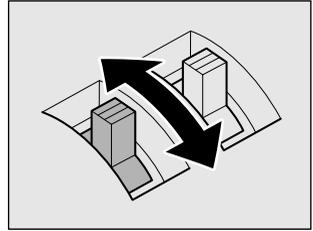
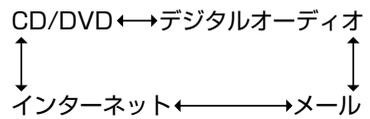
[接続] 画面が表示されます。

2 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする

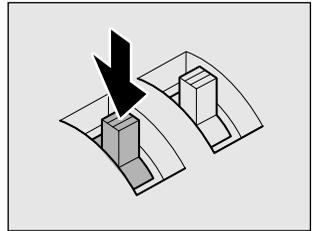
方法2 - ジョグボタンから接続する

ジョグボタンでブラウザを起動できます。
ご購入時は「Internet Explorer」が起動するように設定されています。

- 1 ジョグボタンを上または下に回す
ジョグボタンを回すたびに、次のようにナビパネルの表示が切り替わります。



- 2 「インターネット」が表示されたら、ジョグボタンを押す
アプリケーションが起動します。



パソコン本体の電源が入っていないときは電源が入ります。
スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときにジョグボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後、「Internet Explorer」が起動します。
続けて、[接続] 画面が表示されます。

- 3 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする

方法3 - ダイヤルアップアイコン (ダイヤルアップ機) から接続する

- 1 [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 2 [XXXX (接続先)] アイコン (ダイヤルアップ機) をダブルクリックする



● 接続先を追加した場合は、[ダイヤルアップ] アイコン (ダイヤルアップ機) は接続先の番号ごとに作成されます。接続する場所に応じて、番号を使い分ける場合にはわかりやすい名前をつけると切り替えが簡単です。

[接続] 画面が表示されます。

- 3 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする

6 インターネット接続を終了する

代表的な切断方法を説明します。

接続が切断されると、タスクバーの [接続中] アイコン () が消えます。

方法1

- 1 タスクバーの [接続中] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから [切断] をクリックする



方法2

- 1 タスクバーの [接続中] アイコン () をダブルクリックする
- 2 [切断] ボタンをクリックする

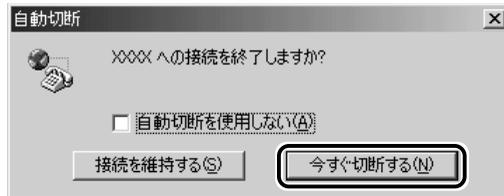


-  ● 回線状態などの影響で、実際の接続状態は、表示された「XXXX bps」の通信速度より遅い場合があります。

方法3

「Internet Explorer」が表示されている場合です。

- 1 「Internet Explorer」の「閉じる」ボタン（）をクリックする
- 2 「今すぐ切断する」ボタンをクリックする



7 ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝とMicrosoft社のユーザ登録を行なってください。今後のサービス・サポートが受けられます。

東芝へのユーザ登録

インターネットで登録する

- ① [スタート] → [プログラム] → [東芝 PC お客様登録] → [東芝 PC お客様登録] をクリックする
- ② 表示される画面の内容を読み、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ 表示される画面に従って操作する

[インターネットプロバイダと未契約の方] を選択した場合：

インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続をされている方] を選択した場合：

インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由の登録を希望しない方] を選択した場合：

ハガキでユーザ登録するメッセージが表示されます。

すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

Microsoft 社へのユーザ登録

- ① [スタート] → [ヘルプ] をクリックする
[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。
- ② [Windows Millennium Edition を使う] をクリックする
- ③ [アプリケーションの登録] をクリックする
- ④ [Windows オンラインに登録する] をクリックする
- ⑤ 右画面の [ここをクリック] をクリックする
ウィザードが起動します。
- ⑥ 表示される画面に従って登録を行う

3

インターネット エクスプローラ Internet Explorer の使いかた

ホームページを楽しむために、Internet Explorer の使いかたを覚えましょう。
ここでは基本的な使いかたを説明します。

* 本節で使用している画面は表示例です。ホームページのアドレス、画面などは、
変更になる場合があります。

1 Internet Explorer画面

ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。
各ボタンは次の働きをします。

-  1つ前の画面に戻ります。
-  1つ先の画面に進みます。
-  ページの読みこみを中止します。
-  ページを最新の情報にします。
-  どのページを表示していても、スタートページが表示されます。
◎「本章 4-1 起動したときに表示するページを変更する」
-  検索の画面を表示します。
◎「本節 2 ホームページを検索する」
-  よく見るページなどを登録し、簡単にページが開けるようにします。
◎「本節 3 よく見るページを登録する(お気に入り)」
-  以前に表示したページを表示します。
◎「本章 4-6 以前に表示したホームページを表示する」
-  メールソフトを起動します。
-  ページを印刷します。



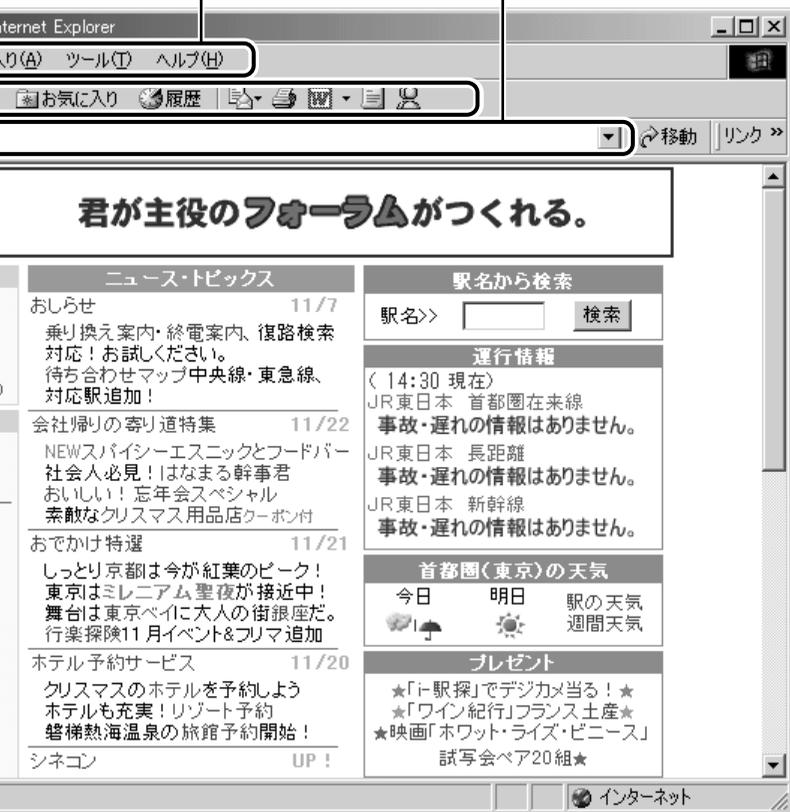
ステータスバー
接続状態を表示します。

メニューバー

すべての操作はこのメニューから行えます。

アドレスバー

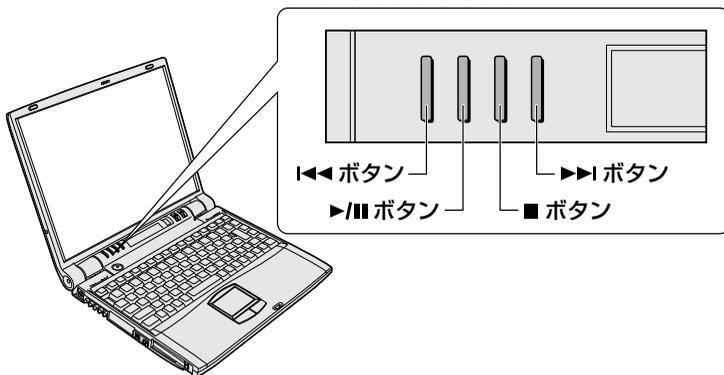
ホームページのアドレスがわかっている場合に
入力します。
アドレスとは「http://」の後に続く英数字の
ことで、ホームページの場所を示します。



オーディオプレイボタンで操作する

ナビパネルに「インターネット」を表示すると、オーディオプレイボタンでInternet Explorerの操作ができます。

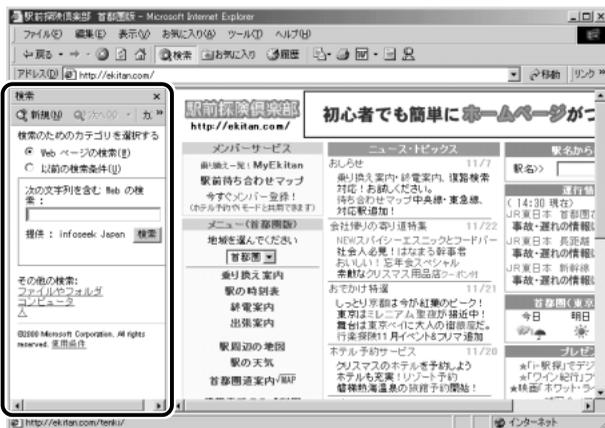
オーディオプレイボタン



I<< ボタン	1つ前の画面に戻ります。
▶/ ボタン	ホームページを更新します。
■ ボタン	ホームページの更新を中止します。
▶▶I ボタン	1つ先の画面に進みます。

2 ホームページを検索する

- 1 ツールバーの [検索] ボタン ( 検索) をクリックする
左側に検索画面が表示されます。



2 探したいページのキーワードを入力する

ここでは「旅行」と入力してみます。



3 [検索] ボタンをクリックする

検索結果が表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると、ページが表示されます。



3 よく見るページを登録する (お気に入り)

よく見るホームページを [お気に入り] に登録しておきます。[お気に入り] に登録しておくことで、アドレスなど面倒な入力をせずに、見たいホームページを表示できます。



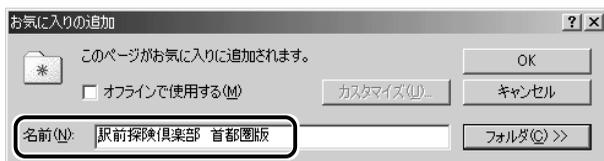
- **アドレス** ● 「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示す。住所のようなもの。URL とも呼ばれる。

【お気に入り】に登録する

- 1 登録したいホームページを表示する
ここでは「<http://ekitan.com/>」のページを例にして説明します。
- 2 メニューバーの【お気に入り】をクリックし、表示されたメニューから【お気に入りに追加】をクリックする

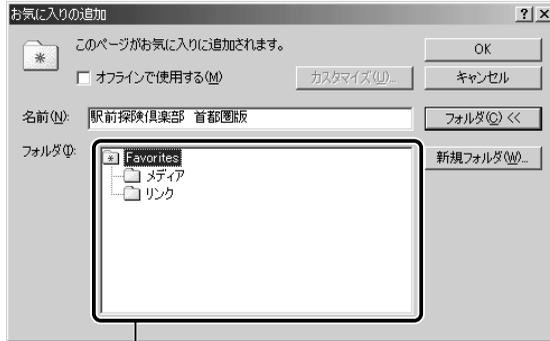


- 3 【名前】を入力する
ここでは、「駅前探検倶楽部 首都圏版」で登録します。



- 4 登録するフォルダを指定しない場合は【OK】ボタン、指定する場合は【フォルダ】ボタンをクリックする
フォルダを指定しない場合は登録完了です。
フォルダを指定する場合は手順5以降をご覧ください。
- 5 【フォルダ】を指定する

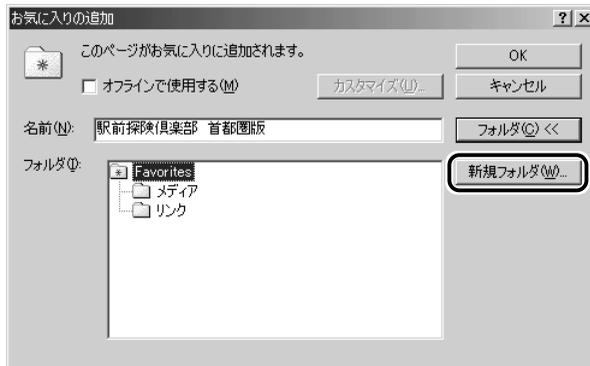
既存のフォルダに登録する場合



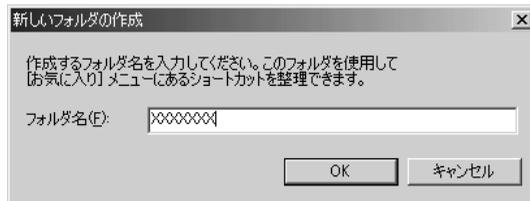
目的のフォルダをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

新規にフォルダを作成する場合

① [新規フォルダ] ボタンをクリックする

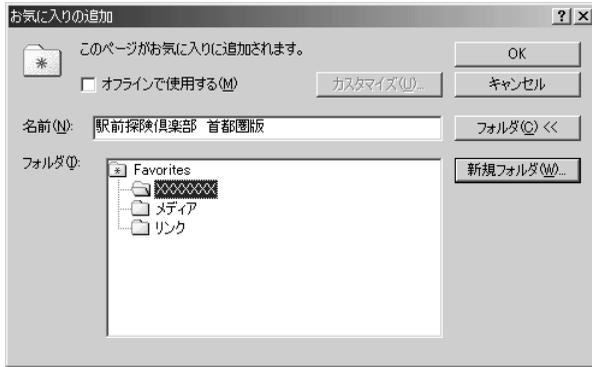


② 名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする



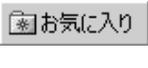
フォルダが作成されました。

- ③ 作成したフォルダが反転表示している状態で [OK] ボタンをクリックする



【お気に入り】 からホームページを表示する

方法 1

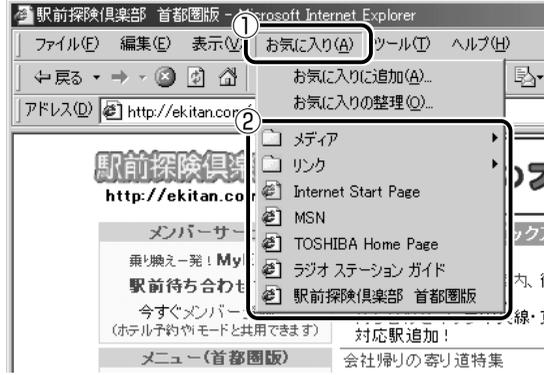
- 1 ツールバーの [お気に入り] ボタン () をクリックする
左側に [お気に入り] 画面が表示されます。



- 2 目的のフォルダまたはホームページをクリックする

方法2

- 1 メニューバーの【お気に入り】をクリックし、表示されたメニューからフォルダまたはページをクリックする

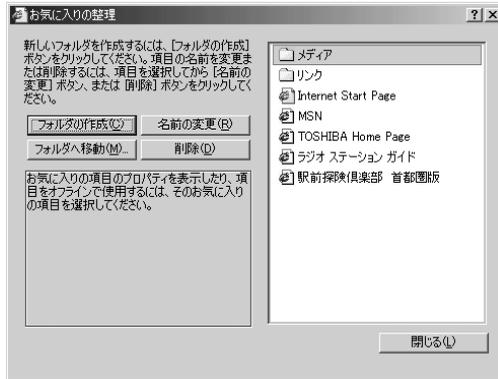


【お気に入り】を整理する

- 1 メニューバーの【お気に入り】をクリックし、表示されたメニューから【お気に入りの整理】をクリックする



【お気に入りの整理】画面が表示されます。



新しくフォルダを作成する

- 1 【フォルダの作成】 ボタンをクリックする
【新しいフォルダ】 が作成されます。
- 2 名前を入力する

登録してあるフォルダを変更する

- 1 変更したいフォルダまたはホームページをクリックし、
【フォルダへ移動】 ボタンをクリックする
フォルダの一覧が表示されます。
- 2 移動先のフォルダをクリックし、【OK】 ボタンをクリックする

【お気に入り】 から削除する

- 1 削除したいフォルダまたはホームページをクリックし、【削除】 ボタンをクリックする
確認のメッセージが表示されます。
- 2 【はい】 ボタンをクリックする

4

知っているとお利便なこと

Internet Explorer の使いかたで、知っておくと便利なことを紹介します。

* 本節で使用している画面は表示例です。ホームページのアドレス、画面などは、変更になる場合があります。

1 起動したときに表示するページを変更する

Internet Explorer を起動したときに表示されるホームページをスタートページといいます。スタートページは、自由に設定することができます。

- 1 スタートページにしたいホームページを表示する
ここでは「<http://ekitan.com/>」を例にして説明します。
- 2 メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [インターネットオプション] をクリックする



3 [全般] タブの [ホーム ページ] で [現在のページを使用] ボタンをクリックする

[アドレス] に、表示しているホームページのアドレスが表示されます。

[標準設定] ボタンをクリックすると、ご購入時の設定に戻ります。



- メモ** ● [アドレス] にスタートページにしたいホームページのアドレスを直接入力して設定することもできます。この場合、あらかじめホームページを表示しておく必要はありません。

4 [OK] ボタンをクリックする

スタートページに戻る

他のホームページを表示していても、[ホーム] ボタンをクリックするだけでスタートページへ移動することができます。

- 1 ツールバーの [ホーム] ボタン () をクリックする
スタートページが表示されます。

2 ホームページを保存する

後でゆっくり見たいホームページや保存しておきたいホームページを文章やイラストごとダウンロードし、1つのファイルとして保存できます。

1 保存したいホームページを表示する

ここでは「http://ekitan.com/」を例にして説明します。

2 メニューバーの [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする



3 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。



[ファイルの種類] で保存する内容を選択できます。

[Web ページ、完全 (*.htm ; *.html)] :

表示されているホームページの内容がすべて表示されます。
保存される時は画像ファイルなどは別のファイルで保存されます。

[Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)] :

表示されているホームページの内容が 1 つのファイルですべて保存されます。

[Web ページ、HTML のみ (*.htm、*.html)] :

表示されているホームページが htm ファイルの形式で保存されますが画像などは保存されません。

[テキストファイル (*.txt)] :

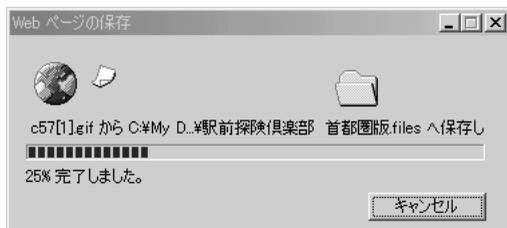
文字だけが保存されます。画面上では文字であってもその文字が画像として作成されていた場合は保存されません。表示するときは「メモ帳」などで開きます。

ここでは、[Web ページ、完全 (*.htm、*.html)] を選択した場合で説明します。

[エンコード] では [日本語 (シフト JIS)] を選択してください。

4 【保存】 ボタンをクリックする

ダウンロードが開始されます。



ホームページのファイルと同じファイルが [マイドキュメント] に保存されます。

保存したページを見るには、ホームページのファイルをダブルクリックします。



ホームページのファイルと同じ名前のフォルダには、そのページに使われているイラストなどが保存されています。ホームページのファイルあるいはフォルダのどちらかを移動あるいは削除すると、もう一方も一緒に移動あるいは削除されますので、同じ場所に保存してください。

3 ホームページの画像を保存する

表示しているホームページ上の画像をパソコンに保存することができます。ここでは「http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index_j.htm」のページの画像を例にして説明します。

* このホームページに記載のイラスト・写真・文章の無断の転載を禁じます。全ての著作権は株式会社東芝に帰属します。



1 保存したい画像の上にマウスポインタをあわせる



2 右クリックし、表示されたメニューから「名前を付けて画像を保存」をクリックする



「画像の保存」画面が表示されます。

3 保存する場所とファイル名を確認する

保存する場所を変更したい場合は、[保存する場所]の右端の▼ボタンをクリックします。場所の一覧が表示されますので、保存先を選択してください。

[ファイル名]には、ホームページ上の画像のファイル名が表示されます。ファイル名は自由に変更できます。

参照 文字の入力 ☞ 『パソコンの基本 4章 3 文字を入力する』



4 「保存」ボタンをクリックする

4 ホームページの画像を壁紙に設定する

ホームページ上の画像をデスクトップの壁紙にすることができます。ここでは「http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index_j.htm」のページの画像を例にして説明します。

- * このホームページに記載のイラスト・写真・文章の無断の転載を禁じます。全ての著作権は株式会社東芝に帰属します。



1 壁紙に設定したい画像の上にマウスポインタをあわせる

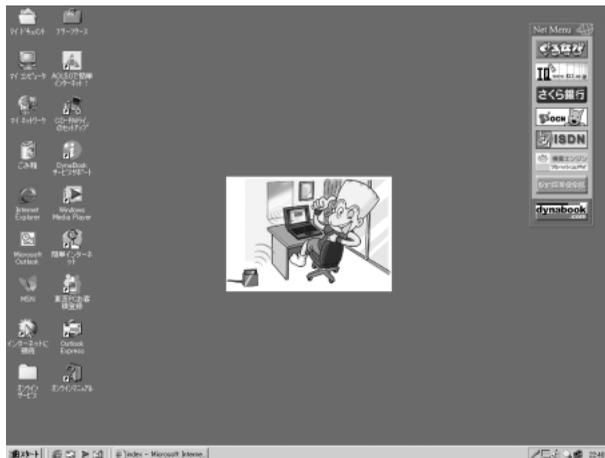


2 右クリックし、表示されたメニューから [壁紙に設定] をクリックする



画像が壁紙に設定されます。

Internet Explorerの画面の「最小化」ボタン()をクリックし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。



壁紙を拡大する／並べて表示する

壁紙が小さい場合拡大したり、画面いっぱいにならべて表示することができます。

1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする

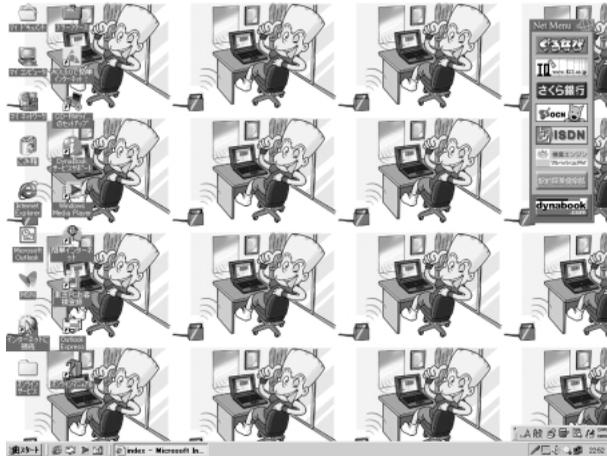
2 [画面] をダブルクリックする

3 [画像の位置] で、拡大したい場合は [拡大して表示]、並べたい場合は [並べて表示] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

拡大して表示



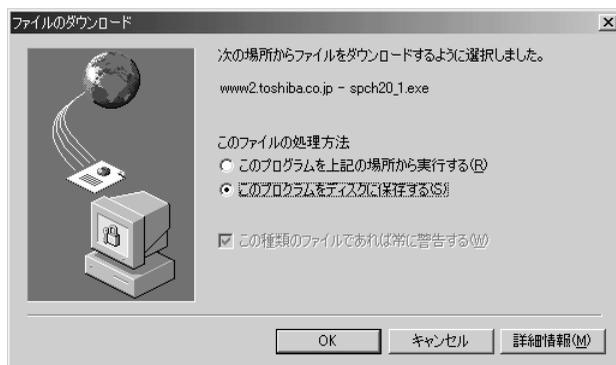
並べて表示



5 プログラムファイルをダウンロードする

ホームページには、プログラムなどのファイルを提供しているものがあります。ファイルのダウンロードを選択すると、次のような画面が表示されます。

-  ● ファイルの種類によっては、1 つめの項目が「このプログラムを上記の場所から開く」と表示されます。



(表示例)

ホームページの場所からプログラムなどのファイルを実行する方法は、実行に時間がかかったり、実行中に何らかの理由でインターネットへの接続が切断されるなど、失敗する場合があります。

そのため、「このプログラムをディスクに保存する」方法をおすすめします。ディスクに保存するとは、ホームページからファイルをダウンロードして自分のパソコンに保存することです。

この方法には次のような利点があります。

- ・ ファイルにウイルスはないか、チェックできる
- ・ 他のアプリケーションを終了してから、ファイルを実行することができる
- ・ インターネットへの接続を切断してから、ファイルを実行することができる

ファイルをダウンロードしてディスクに保存する方法を説明します。

1 [このプログラムをディスクに保存する] をチェックし、[OK]ボタンをクリックする



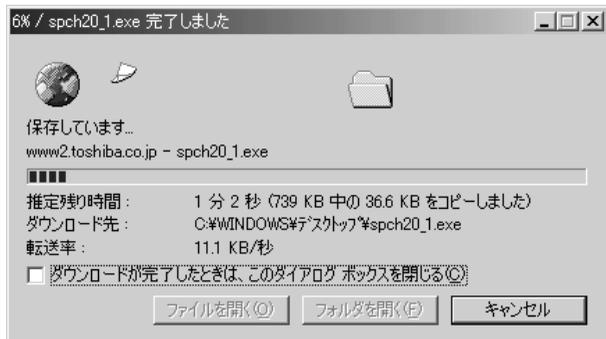
2 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。



3 [保存] ボタンをクリックする

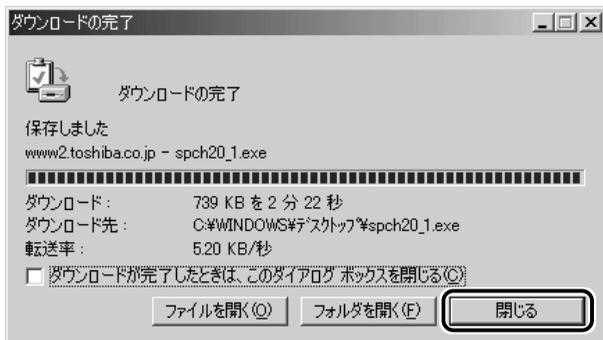
ダウンロードが開始されます。
ファイルサイズが大きいと、ダウンロードに時間がかかります。
ダウンロードが終了すると、終了画面が表示されます。





- [ダウンロードが完了したときは、このダイアログボックスを開じる] をチェックすると、閉じるための操作をしなくてもダウンロード終了後、画面が閉じます。

4 [閉じる] ボタンをクリックする

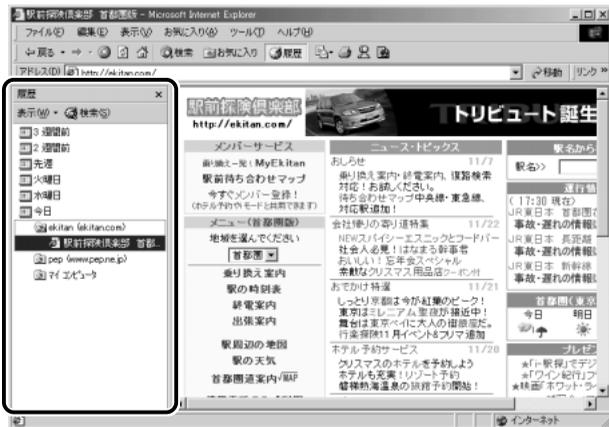


ダウンロードしたファイルを実行するには、保存したファイルをダブルクリックします。

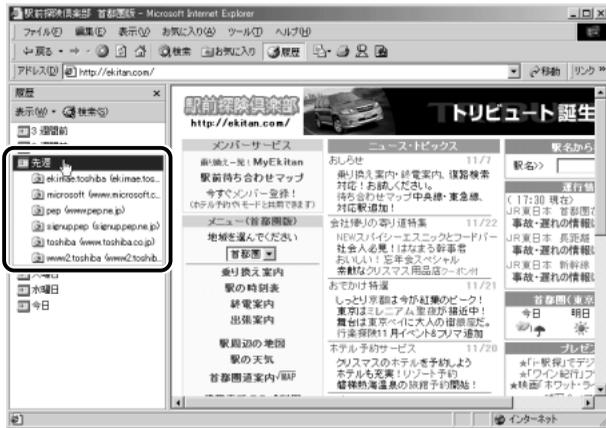
6 以前に表示したホームページを表示する

過去に表示したことがあるホームページの履歴は、一定期間保存されています。履歴を検索して、以前に表示したホームページをもう1度表示させることができます。

- 1 ツールバーの [履歴] ボタン ( 履歴) をクリックする
左側に履歴画面が表示されます。

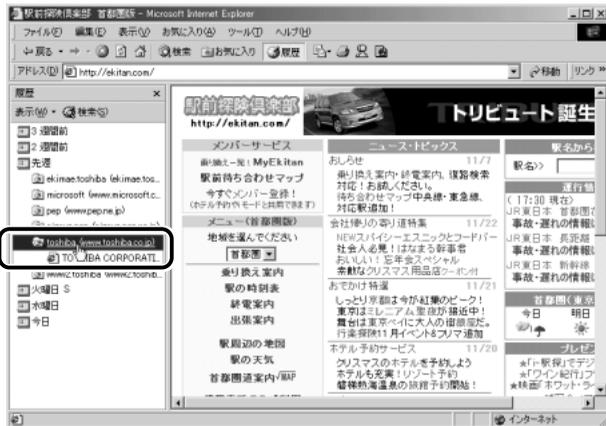


- 2 目的のホームページを表示した週または曜日をクリックする
その週または曜日に表示したホームページの場所の一覧が表示されます。



インターネットを楽しもう

- 3 目的のホームページがある場所をクリックする
その場所で表示したホームページの一覧が表示されます。



- 4 目的のホームページをクリックする
ホームページが表示されます。



ツールバーの [履歴] ボタンをもう 1 度クリックすると、左側の履歴画面が閉じます。

- メモ** ● 履歴の保存期間は、メニューバーの [ツール] → [インターネットオプション] → [全般] タブの [履歴] で設定することができます。

5

東芝ネットメニュー

デスクトップに表示されている東芝ネットメニューのアイコンをクリックすると、アドレスを入力することなく簡単にホームページに接続できます。



表示位置を変更する

表示されているメニューを移動することができます。

マウスポインタを **Net Menu**  にあわせるとグレーのタイトルバーが表示されます。このタイトルバーをドラッグし、好きな位置に移動してください。

メニューを閉じるには、閉じるボタン () をクリックしてください。

東芝ネットメニューを表示する

メニューを閉じてしまった後、もう1度表示したい場合は次の手順で表示できます。

- 1 [スタート] → [プログラム] → [東芝ネットメニュー] → [東芝ネットメニューの初期化] をクリックする
- 2 表示されたメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

3章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは? 114
- 2 必要な設定を行う 116
- 3 アウトルック エクスプレス Outlook Express の使いかた 124
- 4 新着メールをナビパネルで確認する 157

1

電子メールとは？

1 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、画像や文書ファイルなどのデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

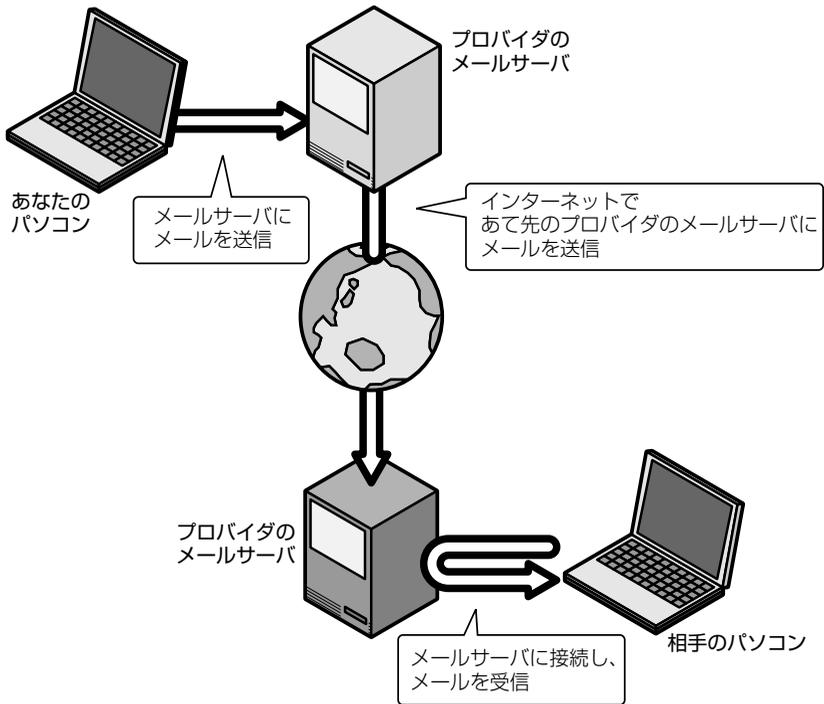
「Eメール（Electric Mailの略）」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

2 メールのおしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



- **メールサーバ** ● メール配信サービスを提供するコンピュータ。メールの配信では、送信のために利用される SMTP サーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つ POP3 サーバの2種類がある。



2

必要な設定を行う

本製品にはメールソフト「Outlook Express」がプレインストールされています。

ここでは「Outlook Express」の使いかたについて説明します。その他のメールソフトを使う場合は、『メールソフトに付属の説明書』をご覧ください。

ここでは、すでにプロバイダへの入会が完了している場合について説明します。

 プロバイダへ入会していない場合 ⇨ 「2章 インターネットを楽しもう」

メールの使いかたについて、次の流れで説明します。

必要な設定をする (⇨P.117)

初めてメールを使うときのみ必要です。

Outlook Expressの使いかた

●基本 (⇨P.124)

- ・メールを作成する
- ・メールを送信する／受信する
- ・メールを返信する／転送する
- ・メールを削除する

●活用 (⇨P.140)

- ・メールを整理する
- ・アドレス帳を使う
- ・その他の機能

新着メールを自動チェックする (⇨P.157)

*本章で使用している画面は表示例です。

必要な設定をする

初めてメールを使うときは、プロバイダのメールサーバの種類やメールサーバに接続するアカウント名、パスワードの設定が必要です。次の手順で行なってください。

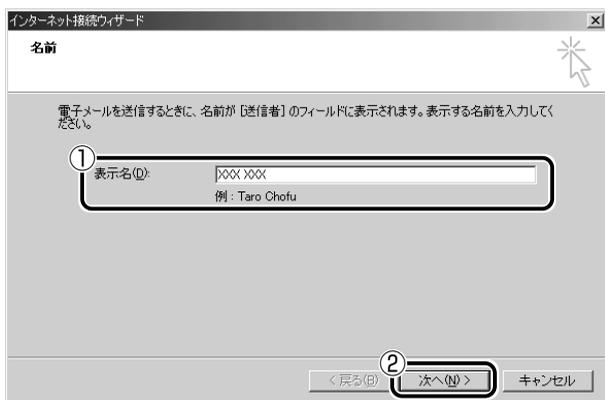
また、ここで説明している内容は一般的な手順です。ここでの設定が必要ない場合もあります。詳細が不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

1 デスクトップ上の [Outlook Express] アイコン () をダブルクリックする

Outlook Express が起動すると、[インターネット接続ウィザード] の [名前] 画面が表示されます。

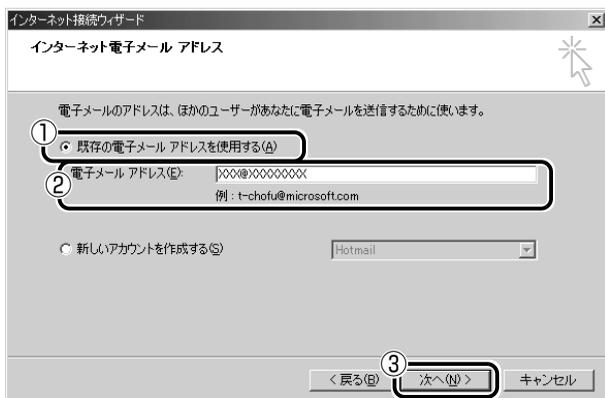
[名前] 画面が表示されない場合は、Outlook Express 画面で [メールアカウントの設定] をクリックしてください。

2 [表示名] に名前を入力し、[次へ] ボタンをクリックする ここで入力した名前が、メールを送信したとき [送信者] に表示されます。

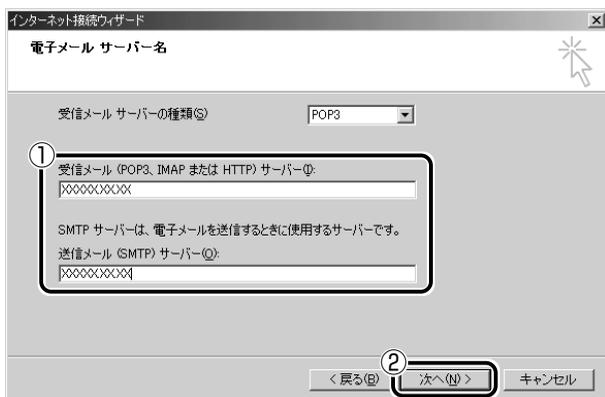


- 3 [既存の電子メールアドレスを使用する] をチェック () した後、メールアドレスを入力し、[次へ] ボタンをクリックする

メールアドレスはプロバイダから割り当てられているメールアドレスを「XXX @ XX.XX」の形で、半角英数字で入力します。



- 4 電子メールサーバ名を設定し、[次へ] ボタンをクリックする
受信メールサーバ、送信メールサーバの種類は、ご契約のプロバイダによって異なります。プロバイダから送付された書類をご確認のうえ、入力してください。



5 アカウント名とパスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックする

[アカウント名] には、ユーザ名を入力します。ユーザ名とパスワードは、プロバイダとの契約時に決まります。

プロバイダから送付された書類をご確認のうえ、入力してください。

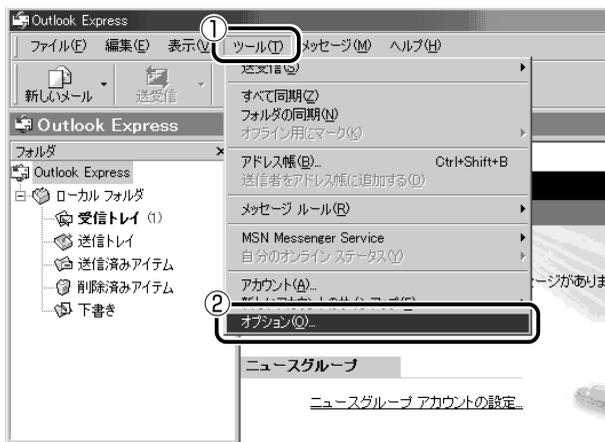
6 [完了] ボタンをクリックする

以上で設定は完了です。

オプションの設定

メールをより便利に使うための設定をご紹介します。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする



[オプション] 画面が開きます。

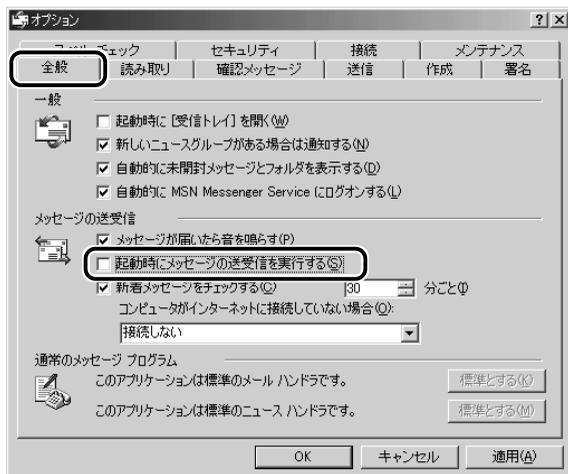
2 各タブで設定を行う

オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、設定すると Outlook Express をより便利に使うことができます。本書では、オプション 1～4 の設定を行なった前提で説明しています。

オプション 1 手動でメールのメッセージを受信する場合

[全般] タブの [メッセージの送受信] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

メールの送受信を行う時だけメールサーバに接続する設定になります。[起動時にメッセージの送受信を実行する] をチェックしていると、Outlook Express を起動すると同時にインターネットに接続してしまいます。通常は Outlook Express を起動してから、都合のいいときに手動で送受信を実行したほうが便利です。

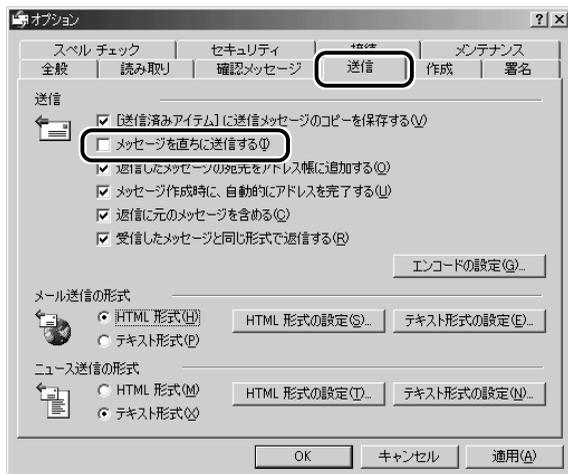


オプション2 数通のメールをまとめて送りたい場合

[送信] タブの [送信] で [メッセージを直ちに送信する] のチェックをはずす

メールの送信をまとめて行う設定になります。

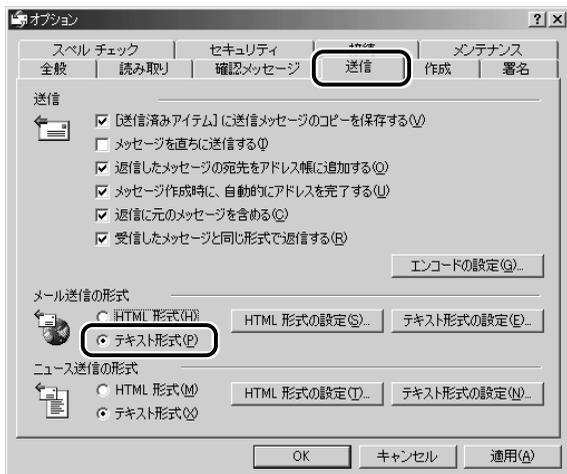
メールを1通書きたびにインターネットに接続するのではなく、手動で送信を実行したほうが数通のメールをまとめて送りたい場合などに、便利です。



オプション3 メール形式を選択する場合

[送信] タブの [メール送信の形式] で [テキスト形式] をチェック () する

HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないと、メールが文字化けして、内容を読むことができない場合があります。通常は、どのメールソフトでも読めるように、テキスト形式でメールを送るほうが良いでしょう。



- **テキスト形式** ● メール本文が文字だけで記述されていること。
- **HTML 形式** ● メール本文が htm ファイル形式で記述されていること。画像を貼りこんだり、リンクを貼れる。
- **文字化け** ● 文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

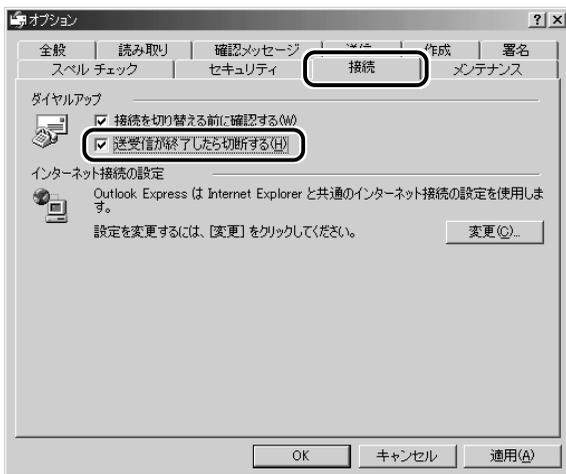
オプション4 インターネットへの接続を終了する場合

[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] をチェック () する

送受信が完了したら、自動的にインターネットの接続を切る設定になります。

接続したままだと、メールの送受信を実行していなくても電話料金がかかります。一時的にメールの送受信を行うためであれば、送受信後は自動的に接続を切る設定にしておく便利です。

メール送受信の後、接続したままブラウザを起動してホームページの閲覧などを行う場合は、見終わったときに手で必ず接続を切ってください。



3 [OK] ボタンをクリックする

以上で基本的なオプションの設定は完了です。

3

アウトLOOK エクスプレッス Outlook Express の使いかた

1 起動する

Outlook Express を起動する代表的な方法を説明します。

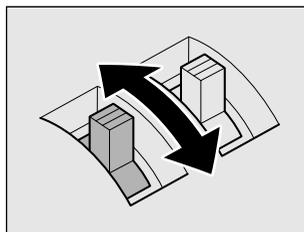
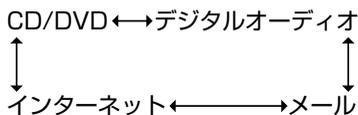
方法 1 – [Outlook Express] アイコン () から起動する

- 1 デスクトップ上の [Outlook Express] アイコン () をダブルクリックする

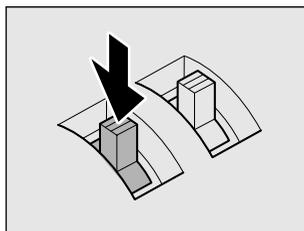
方法 2 – ジョグボタンから起動する

ご購入時は「Outlook Express」が起動するように設定されています。

- 1 ジョグボタンを上または下に回す
ジョグボタンを回すたびに、次のようにナビパネルの表示が切り替わります。



- 2 「メール」が表示されたら、ジョグボタンを押す
Outlook Express が起動します。



パソコン本体の電源が入っていないときは電源が入ります。
スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときにジョグボタンを
押すと、電源を切る前の状態が再現された後、「Outlook Express」
が起動します。

2 Outlook Express画面

メニューバー
すべての操作はこのメニューから行えます。

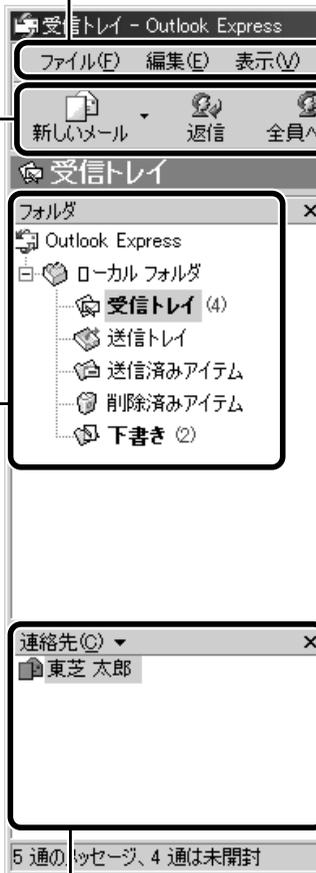
ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。
表示されるボタンは左画面の「フォルダ」で選択されている項目によって異なります。
各ボタンは次の働きをします。

-  新しいメールを作成します。
☞「本節 3 メールを作成する」
-  メールを送ってきた相手にメールを返信します。
☞「本節 5 メールを返信する／転送する」
-  送信元以外にも入力されているメールアドレスに返信します。
☞「本節 5 メールを返信する／転送する」
-  受け取ったメールを別のメールアドレスに転送します。
☞「本節 5 メールを返信する／転送する」
-  メールの内容を印刷します。
-  メールを削除します。
☞「本節 6 メールを削除する」
-  インターネットに接続し、メールの送受信を行います。
☞「本節 4 メールを送信する／受信する」
-  アドレス帳を開きます。
☞「本節 8 アドレス帳を使う」

メールの管理を行います。
「()」は未読または未送信のメール数です。

アドレス帳に登録されている連絡先の一覧が表示されます。



メールの情報が表示されます。
メールの差出人、用件、受け取った時間など



インターネットへの接続状態を示します。

選択したメールの内容が表示されます。

3 メールを作成する

メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。

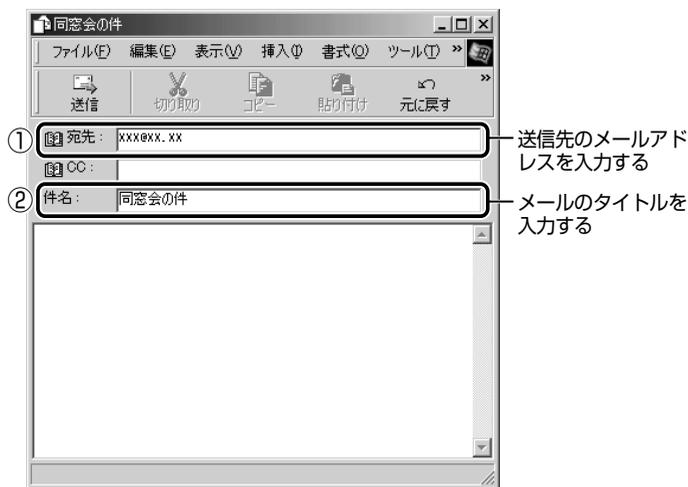
メールの作成が終わった後でインターネットへ接続しましょう。

- メモ** ● インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。

1 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

2 [宛先] と、[件名] を入力する



- メモ** ● メールアドレスは半角で入力してください。
- メールを複数の相手に送る場合は、「;」（セミコロン）で区切ってメールアドレスを入力します。
 - 宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、[CC] にメールアドレスを入力します。
 - 件名に半角カタカナを使用しないでください。

3 メール本文を入力する

送信したい文章を入力してください。

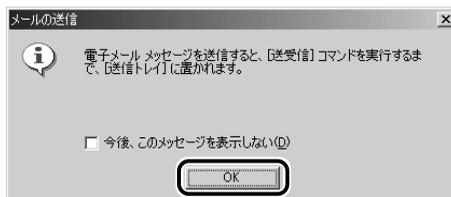
件名やメールの本文を書くときは、半角カタカナを使用しないでください。



4 ツールバーの「送信」ボタン () をクリックする [メールの送信] 画面が表示されます。

-  ● 宛先や件名が入力されていない場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。内容を確認してください。
- [今後、このメッセージを表示しない] をチェックすると、この画面は表示されません。

5 [OK] ボタンをクリックする



このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。
メールをいくつか作成したい場合は、手順 1 から 5 を繰り返し行ってください。

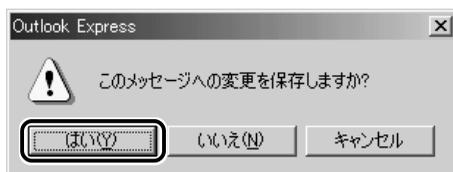
すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

 メールを送信する ⇨ 「本節 4 メールを送信する／受信する」

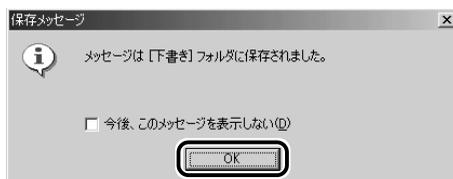
メールを書くのを一時的にやめる

メールを書くのをいったんやめて、その内容を保存しておくことができます。

- 1 メールを作成している画面の「閉じる」ボタン（）をクリックする
- 2 「はい」ボタンをクリックする



- 3 「OK」ボタンをクリックする



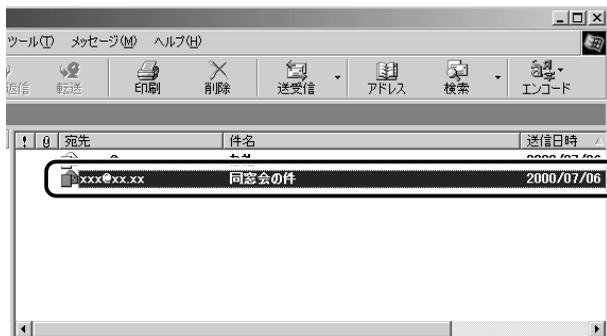
作成したメールは「下書き」フォルダに保存されます。

メールの続きを作成する

1 [フォルダ] の [下書き] をクリックする



2 一覧から目的のメールをダブルクリックする



作成中のメール画面が開きます。

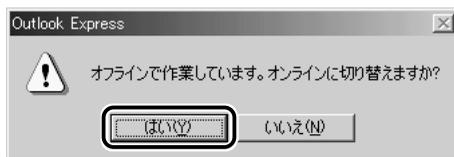
3 メールの続きを入力する



4 メールを送信する／受信する

送信と受信はインターネットに接続したときに、同時に行えます。送信する場合、[送信トレイ]に保存されているメールが送信されます。受信した場合、メールは[受信トレイ]に保存されます。送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

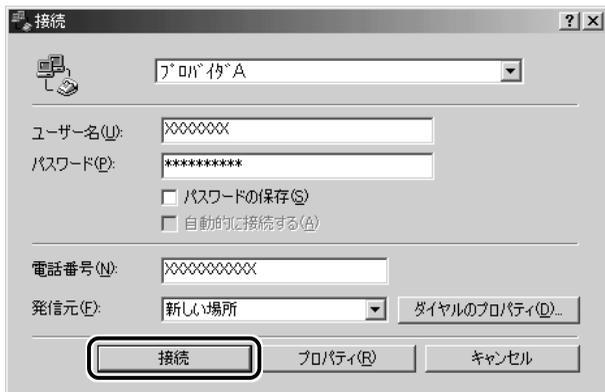
- 1 ツールバーの[送受信]ボタン () をクリックする
- 2 次のメッセージが表示された場合、[[はい]] ボタンをクリックする



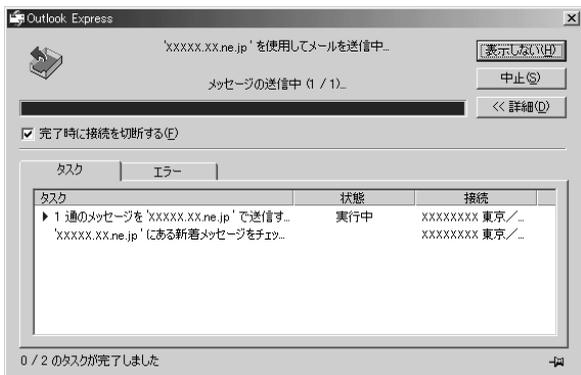
[接続] 画面が表示されます。

- 3 必要な内容を入力し、[接続] ボタンをクリックする

 詳細について ⇨ 「2章 2-4-インターネットに接続してみる」



プロバイダのメールサーバに接続し、送受信が始まります。



[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。

受信メールを見る

受信したメールは [受信トレイ] に保存されています。

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

[受信トレイ] のカッコ内には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。
 まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。
 [送信者] の横にあるマークには次のような意味があります。

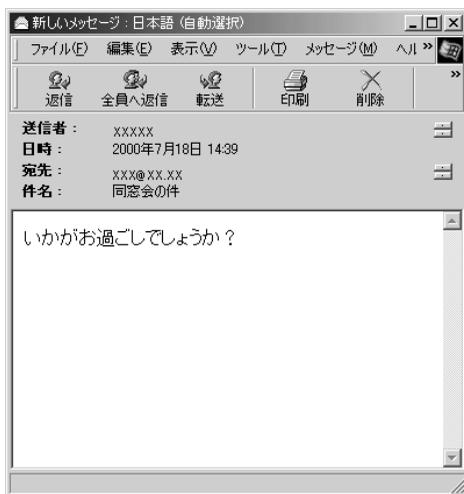
 以前開いたメール（開封済み）

 読んでいないメール（未開封）

 ファイルが添付されている

2 見たいメールをダブルクリックする

メールが開きます。



- メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- ファイルが添付されているメールには、[件名] の下に [添付] が追加され、添付ファイルの名称が表示されます。



添付ファイルの開きかたについて

☞ 「本節 9- メールに添付されたファイルを開く」

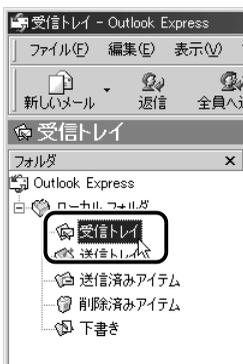
5 メールを返信する／転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。

どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

返信する

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ● メールを整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

2 一覧から返信したいメールをクリックする

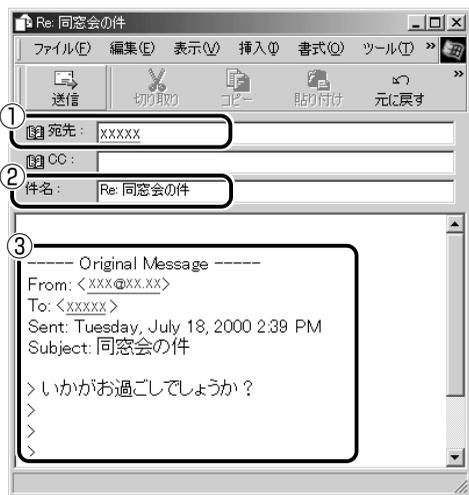
3 ツールバーの [返信] ボタン () をクリックする

メールの作成画面が表示されます。

[宛先] にはメールをくれた相手のアドレスが自動的に表示されます。

[件名] には元のタイトルに「Re:」がついて表示されます。

本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています。

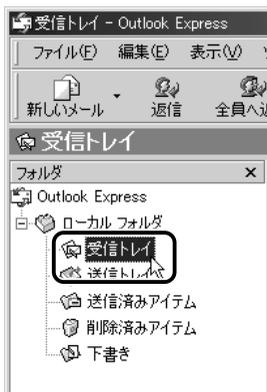


- [全員へ返信] ボタン () をクリックすると、受信メールの宛先や CC に含まれているアドレスすべてが、それぞれ [宛先] と [CC] に入力されます。
- 「Re:」は「Response: 返答、返事」の略です。

4 メール本文を入力する

転送する

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ● メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

2 一覧から転送したいメールをクリックする

- 3** ツールバーの [転送] ボタン () をクリックする
メールの作成画面が表示されます。
[件名] には元のタイトルに「Fw:」がついて表示されます。
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています。



- メモ** ● 「Fw:」は「Forward: 転送する」の略です。

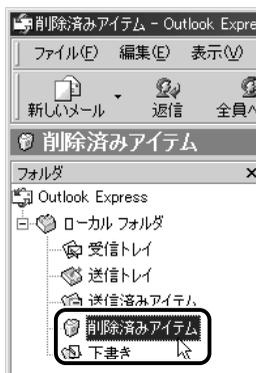
4 [宛先] を入力する

5 メール本文を入力する

6 メールを削除する

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増えていきます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

- 1 [フォルダ] で削除したいメールが保存されている場所をクリックする
一覧が表示されます。
- 2 一覧から削除したいメールをクリックする
- 3 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする
選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。[削除済みアイテム] に移動しています。
- 4 [フォルダ] の [削除済みアイテム] をクリックする
削除したメールの一覧が表示されます。



間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。

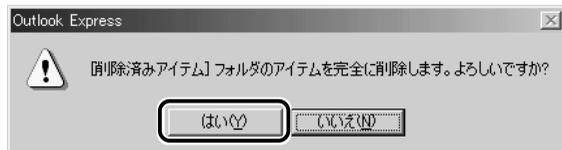


- 5 「削除済みアイテム」を右クリックし、表示されたメニューから「[削除済みアイテム] フォルダを空にする」をクリックする



確認のメッセージが表示されます。
ここで削除したメールはもう見ることはできません。削除する前によく確認してください。

6 [はい] ボタンをクリックする



[削除済みアイテム] にあるメールがすべて削除されます。

7 メールを整理する

受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。Outlook Express では、[受信トレイ] の他にフォルダを作り、メールの相手や内容によって分類することができます。また、不要なメールは削除するなど、[受信トレイ] を常に整理しておく、あとでメールを探すときに便利です。

-  ● 標準設定では、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。設定を変更している場合は、設定先のフォルダに保存されます。

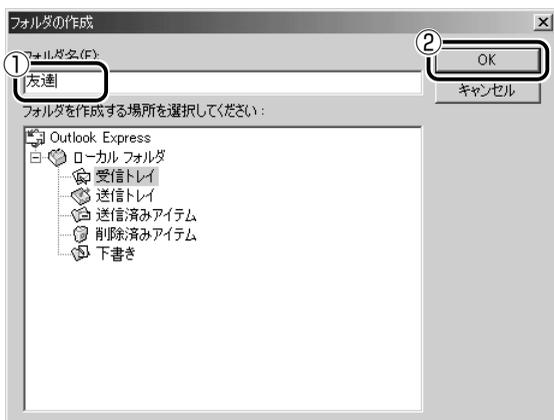
メールを分類する

- 1 [フォルダ] の [受信トレイ] を右クリックし、表示されたメニューから [フォルダの作成] をクリックする

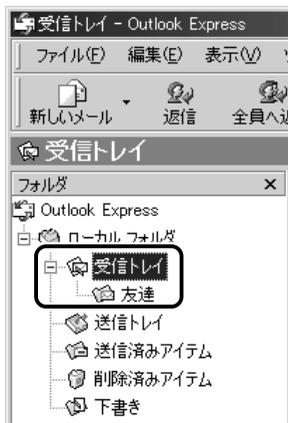


[フォルダの作成] 画面が表示されます。

- 2 フォルダ名を入力し、[OK] ボタンをクリックする
ここでは「友達」と入力します。

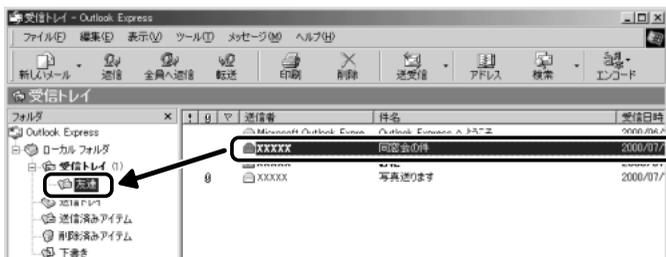


[受信トレイ] に、新しくフォルダが作成されました。



- 3 移動したいメールを、作成したフォルダにドラッグアンドドロップする

複数のメールを指定するときは、(Ctrl)キーを押しながらクリックします。連続して表示されているメールを指定するときは、(Shift)キーを押しながらクリックします。



選択したメールが新しいフォルダに移動します。

4 作成したフォルダをクリックする

フォルダ内のメールの一覧が表示されますので、移動したメールがあるか確認してください。



8 アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳（住所録）」に登録しておくくと便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。

メールをくれた相手をアドレス帳に登録する

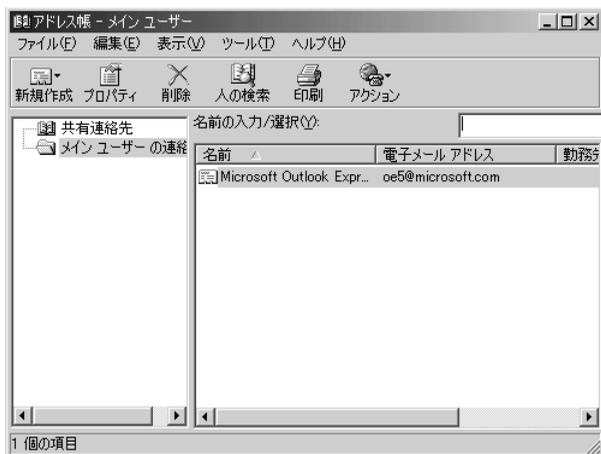
- 1 一覧から登録したいアドレスのメールを右クリックし、表示されたメニューから「送信者をアドレス帳に追加する」をクリックする



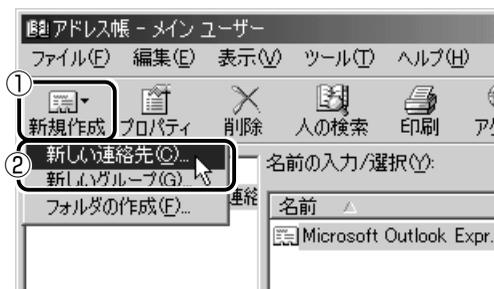
[アドレス帳] に登録されました。

新しいアドレスを登録する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン () をクリックする
[アドレス帳] 画面が表示されます。



- 2 ツールバーの「新規作成」ボタン () をクリックし、表示されたメニューから「新しい連絡先」をクリックする

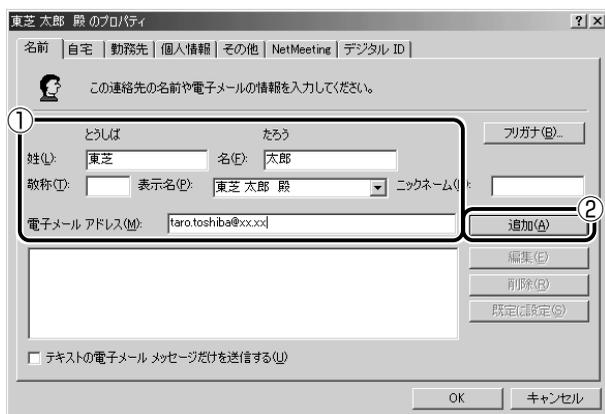


「のプロパティ」画面が表示されます。

- 3 「名前」タブで「姓」「名」「表示名」「電子メールアドレス」を入力し、「追加」ボタンをクリックする

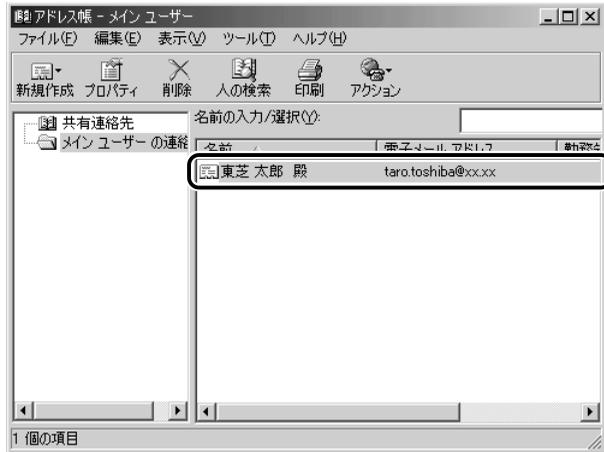


- 電子メールアドレスは、半角英数字で入力してください。
- 「表示名」に入力した文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この「表示名」に追加することをおすすめします。



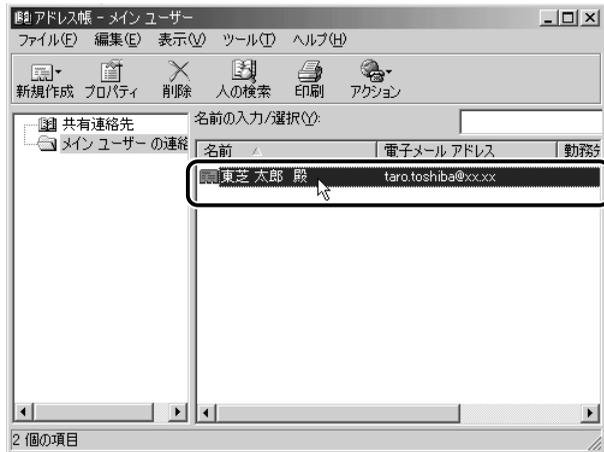
入力したメールアドレスは「標準の電子メール」として追加されます。

- 4 プロパティ画面で [OK] ボタンをクリックすると、アドレス帳に追加されました。



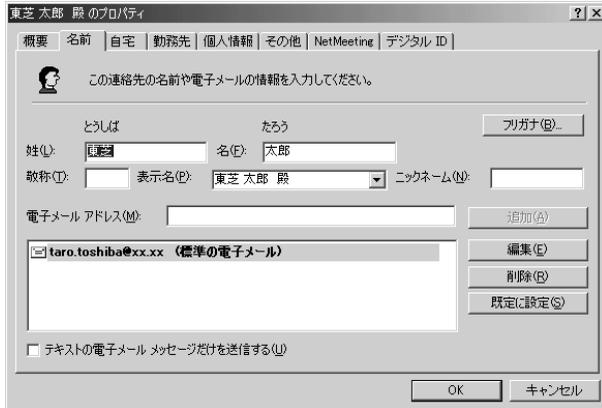
アドレス帳を修正する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン () をクリックする
- 2 修正したい名前をダブルクリックする



[XXXX のプロパティ] 画面が表示されます。

3 [名前] タブで編集したい内容を変更する



電子メールアドレスを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。
「電子メールアドレス」が反転表示されたらアドレスを修正してください。

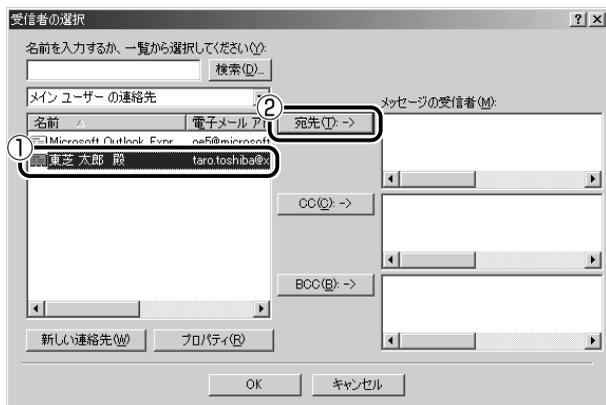


- 4 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックする
[アドレス帳] 画面に戻ります。

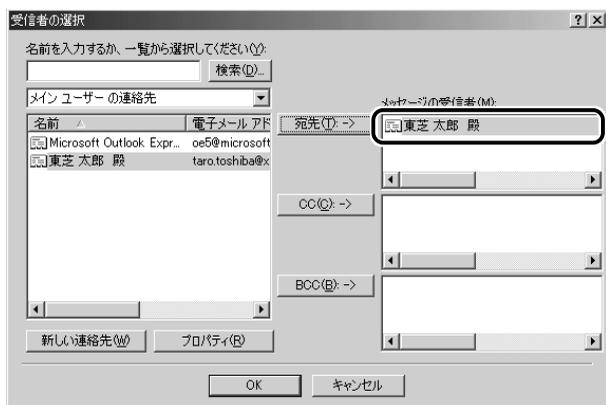
アドレス帳を使って宛先を入力する

- 1 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする
[メッセージの作成] 画面が表示されます。
- 2 [宛先] ボタン ( 宛先:) をクリックする
[受信者の選択] 画面が表示されます。

3 送信したい相手をクリックし、[宛先] ボタンをクリックする



[メッセージの受信者] に選択した名前が入ります。



同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行い、[宛先] に追加してください。



- 「写し」として送る場合は、[宛先] ボタンの代わりに、[CC] または [BCC] ボタンをクリックします。「CC」は Carbon Copy の略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」は Blind Carbon Copy の略で、「CC」と同様の役割です。「宛先」、「CC」で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかりますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわかりません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

4 [OK] ボタンをクリックする

[メッセージの作成] 画面に戻ります。

メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。



5 メールの件名、本文を入力し、メールを作成する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する／受信する」をご覧ください。

9 知っておくと便利なこと

メールで使える文字

メッセージ作成中にパソコンの画面上で読める文字でも、メールで送ったときに相手のパソコンの画面では正しく表示されず、「文字化け」する文字があります。メッセージの本文や件名で使用する文字には気をつけましょう。

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号 (全角)
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸付き数字 (①、②、③ など) ローマ数字 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ など) 罫線記号 (ㄥ、ㄗ、ㄟ など) 音符記号 (♪、♭ など) 論理記号 (∩、≡、≡ など) 特殊文字 (Ⓔ、(株)、om など) 旧字体、外字など



●相手のパソコンが日本語環境 (AT 互換機) 以外のコンピュータを使っている場合、全角文字が文字化けしてしまうことがあります。

署名を入れる

メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておくとも便利です。

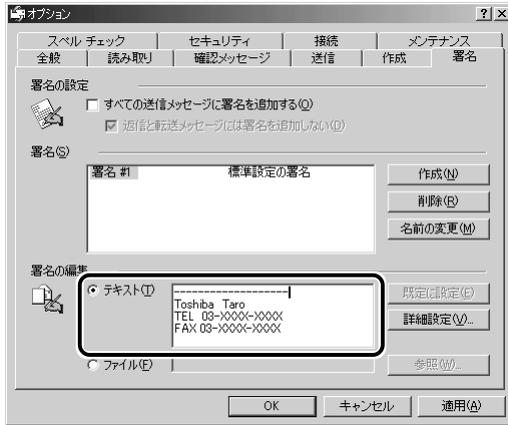
- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする



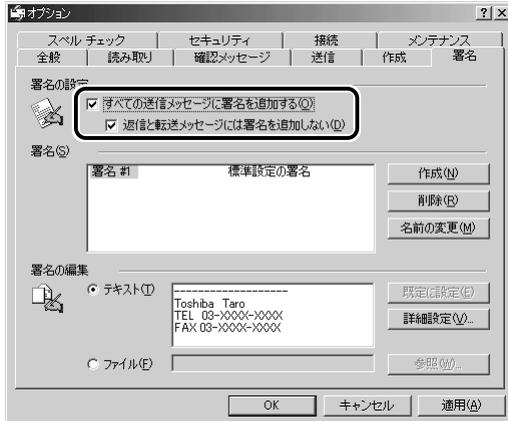
- 2 [署名] タブで [作成] ボタンをクリックする



3 [署名の編集] に差出人情報として入れたい内容を入力する



- 4 [すべての送信メッセージに署名を追加する] をチェックする
返信や転送するメールにも署名を追加する場合は、[返信と転送メッセージには署名を追加しない] のチェックをはずしてください。



- 5 [OK] ボタンをクリックする

- 6 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする
メール作成画面に署名が挿入されています。



メールにファイルを添付する

画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

- 1 メールを作成する
- 2 メニューバーの「挿入」をクリックし、表示されたメニューから「添付ファイル」をクリックする



- 3 添付したいファイルを選択し、「添付」ボタンをクリックする
ここでは [My Pictures] に保存されている「氷山」というファイルを選択します。



[メッセージの作成] 画面に戻ります。
 [件名] の下に、添付したファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返し行ってください。



- 受信側のパソコンに、添付したファイルを開くためのアプリケーションがセットアップされている必要があります。
- メールに添付するファイルは、できるだけファイルサイズを小さくしてください。サイズが大きいと、送信に時間がかかったり、エラーが発生することがあります。また、プロバイダによって扱えるメールのファイルサイズが異なりますので、サイズの大きいファイルは送信できない場合があります。複数のファイルを添付する場合は、ファイルサイズの合計に注意してください。

メールに添付されたファイルを開く

ファイルを開くときの注意

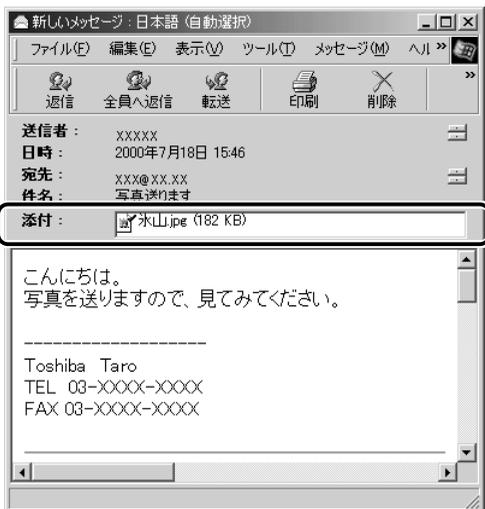
コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ウイルスのチェックを行ってからファイルを開くことをおすすめします。

ファイルを開く

添付ファイルを開くには、添付ファイルに対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

1 メールを開く

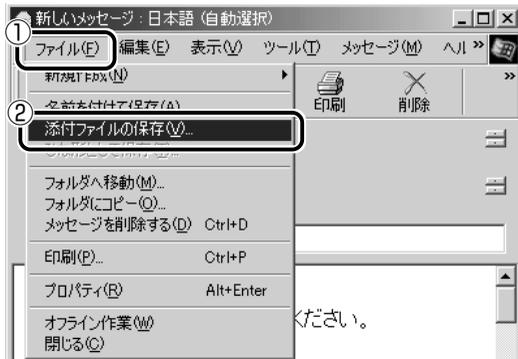
受信メールを開いたとき、[件名] の下に [添付] が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では [送信者] の横に [添付ファイル] アイコン (📎) が表示されています。



ファイル名をダブルクリックして添付ファイルを開くこともできますが、この場合ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示されます。添付ファイルにはウイルスが含まれている場合があるためです。

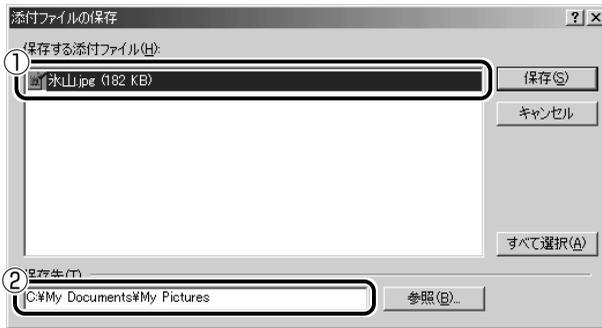
ここでは、いったんファイルを保存してから開く方法を説明します。

- 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし、表示されたメニューから【添付ファイルの保存】をクリックする



【添付ファイルの保存】画面が表示されます。

- 3 保存する添付ファイルと、【保存先】を選択する



表示された保存先と別のフォルダに保存する場合は、【参照】ボタンをクリックしてください。
【フォルダの参照】画面が表示されます。

保存先のフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。
ここでは [My Documents] フォルダに保存します。



4 [保存] ボタンをクリックする

ファイルが保存されました。

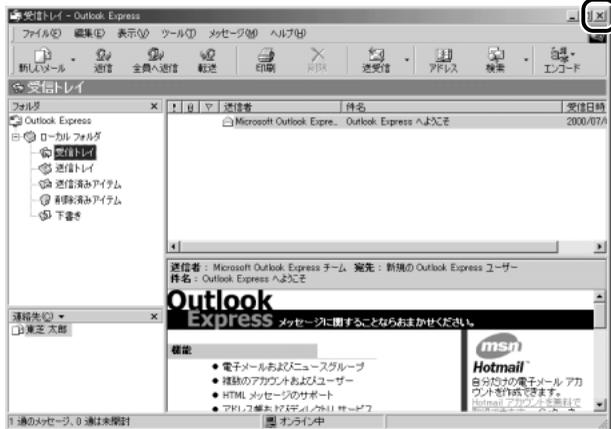
安全性が確認できないファイルは、開く前にウイルスチェックをしてください。

 ウイルスチェックソフト ⇨ 「1章 1-パソコンをチェックする」

5 保存先フォルダを開き、フォルダをダブルクリックする

10 Outlook Expressを終了する

1 Outlook Express 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする



送信トレイに送信していないメールがある場合、送信を確認するメッセージが表示されます。



送信してから終了する場合は、[はい] ボタン、送信しないで終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。画面を閉じたら、インターネット接続が終了しているか確認してください。タスクバーの [接続中] アイコン () が消えていれば、接続は終了しています。

4

新着メールを ナビパネルで確認する

設定した日時に新着メールが届いているかチェックできます。これを新着メールチェック機能とよびます。新着メールが届いていると、ナビパネルに「新着メール XX 通」と表示されます。

新着メールチェック機能を使用するときは、必ず AC アダプタを使用し、本製品と電話回線をモジュラーケーブルで接続してください。

新着メールチェック機能はパソコンが次の状態のときに使用できます。

- ・電源が入っているとき
- ・スタンバイ機能を実行しているとき
- ・休止状態のとき

スタンバイ機能を実行中や休止状態にしているときは、設定した時間にパソコンが自動的に起動し、新着メールをチェックします。

新着メールチェック機能は、メールソフトの設定が完了している場合に使用できます。

 [メールソフトの設定について](#) ⇨ 「本章 2 必要な設定を行う」

またその他にも新着メールチェック機能を使用するには、設定が必要です。本節をよくお読みのうえご使用ください。

-  ● 新着メールチェックを行うには、電話料金およびプロバイダへの接続料金がかかります。

1 新着メールチェックの準備をする

[メール] アイコンをタスクバーに表示する (新着メール機能を開始する)

メールソフト、「メール着信ユーティリティ」、「LaLaVoice メール」を連動させることで新着メールチェックができます。

「メール着信ユーティリティ」の設定に従って、メールソフトと「LaLaVoice メール」が自動的に起動します。

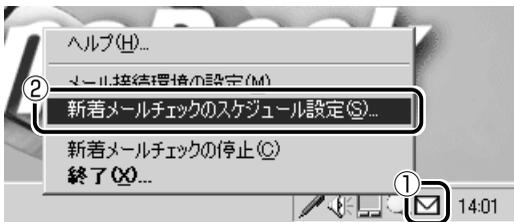
「メール着信ユーティリティ」は次の手順で起動します。

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] に [新着メールチェックのスケジュール設定] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。
- 2 [新着メールチェックのスケジュール設定] アイコン () をダブルクリックする
この操作を初めて行なった場合、[タスクを作成します] 画面が表示されます。表示される内容を確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。
- 3 [基本設定] タブで [実行する (指定された時刻に新着メールのチェックを行う)] をチェックする ()
- 4 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
- 5 [基本設定] タブで [コンピュータ起動時に常駐する] をチェックする ()
チェックしておくともパソコン起動時に自動的に [メール] アイコン () がタスクバーに表示され、新着メールチェック機能が開始できるので便利です。必ずチェックしておく必要はありませんが、チェックしておくことをおすすめします。
- 6 [OK] ボタンをクリックする
タスクバーに [メール] アイコン () が表示されます。
続けて新着メールチェックのスケジュールを設定してください。

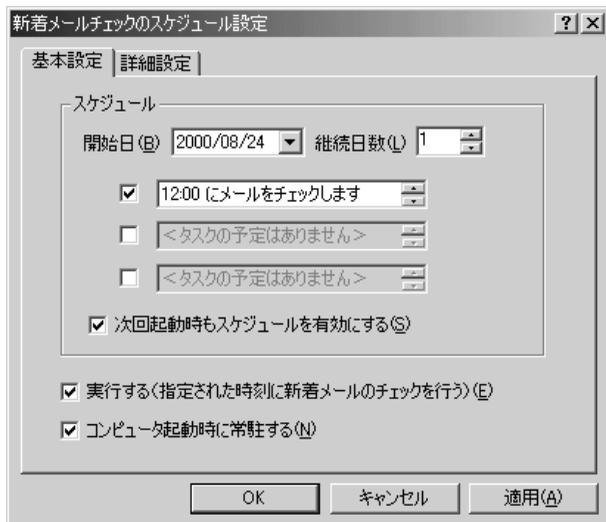
新着メールチェックのスケジュールを設定する

新着メールチェックを開始する日や時間を設定します。

- 1 タスクバーの [メール] アイコン (✉) を右クリックし、表示されたメニューから [新着メールチェックのスケジュール設定] をクリックする



- 2 [基本設定] タブで [スケジュール] を設定する



- ① [開始日] でチェックを開始する日を設定する
▼ボタンを押すとカレンダーが表示されますので、開始したい日をクリックしてください。
- ② [継続日数] でチェックを続ける期間を設定する
最大 30 日まで設定できます。

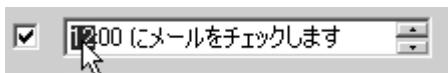
③ 何時に新着メールチェックを行うか設定する

1日に最大3回まで設定できます。チェックしたい回数だけチェックボックスをチェックします ()。

画面は12:00に1回だけチェックする場合です。

時間を設定するには、設定したい [時間] [分] にマウスポインタをあわせてクリックします。数字が反転表示しますので、

▲▼ ボタンで設定します。



3 [詳細設定] タブで [タスクの実行時にスリーブを解除する] をチェックする

スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときに新着メールチェック機能を使用するときにチェックします。

4 [OK] ボタンをクリックする

メールチェックの接続環境を設定する

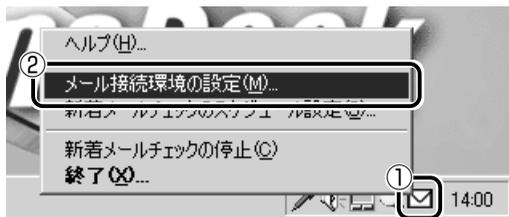
初めて新着メールチェック機能を使用するときは、メールソフトの接続環境を設定します。「新着メール数だけを確認する」または「新着メール数とメール内容を確認する」のいずれかを設定してください。MAPI対応以外のメールソフト (PostPet など) をご使用になる場合は、「新着メール数を確認する」に設定してください。

MAPI対応メールソフト： Outlook Express、Microsoft Outlook、Microsoft Exchange など

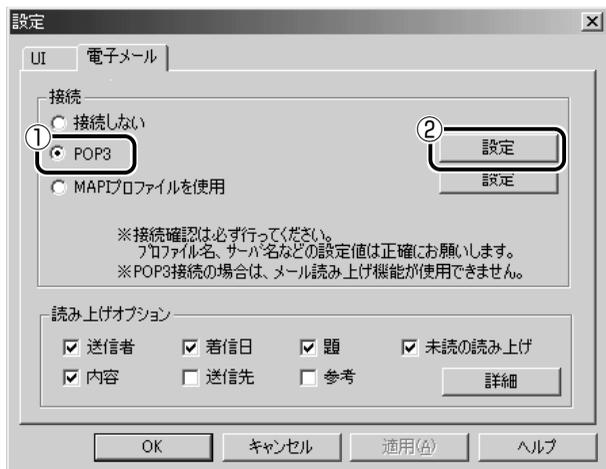
新着メール数だけを確認する

新着メール数だけを知りたいときに設定します。メールの内容を確認することはできません。メールの内容を確認するには、ご使用のメールソフトで送受信を行う必要があります。

- 1 タスクバーの [メール] アイコン (☑) を右クリックし、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする



- 2 [電子メール] タブの [接続] で [POP3] をチェックし、[設定] ボタンをクリックする
[POP3] に設定した場合、読み上げ機能は使用できません。



- 3 必要な項目を入力する

プロバイダから指定されている [サーバ名] [ユーザ名] [パスワード] を入力してください。



4 [OK] ボタンをクリックする

5 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する

[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。

音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。

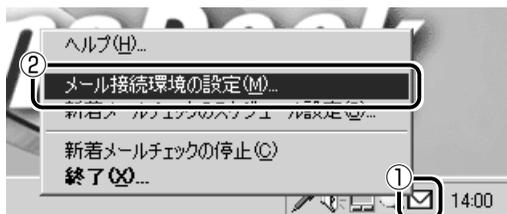


6 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

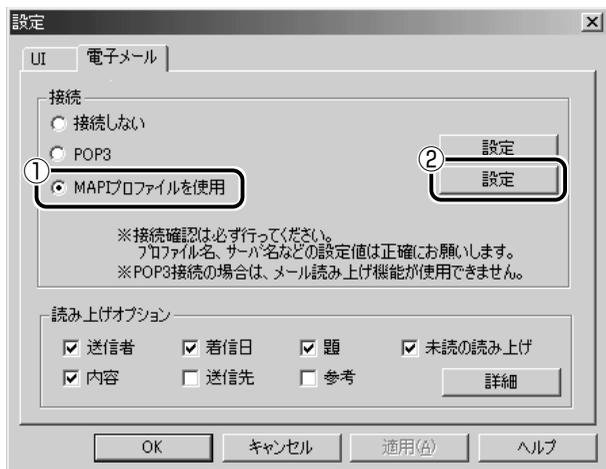
新着メール数とメールの内容を確認する

新着メール数とメールの内容を知りたいときに設定します。MAPI 対応メールソフトをご使用の場合に使用できます。MAPI 対応以外のメールソフトをご使用の場合、メールの内容は確認できません。

- 1 タスクバーの [メール] アイコン (✉) を右クリックし、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする

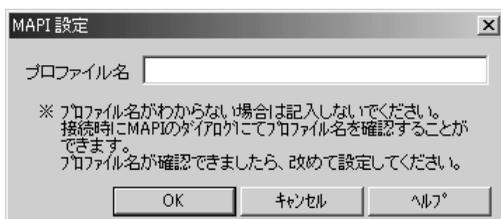


- 2 [電子メール] タブの [接続] で [MAPI プロファイルを使用] をチェックし、[設定] ボタンをクリックする



- 3 [プロフィール名] を入力する

メールサーバが Exchange サーバの場合に [プロフィール名] を入力してください。



- 4 [OK] ボタンをクリックする

- 5 使用するメールソフトを設定する

- ① デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ② [プログラム] タブの [電子メール] で使用するメールソフトを選択する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

6 MAPI 対応メールソフトで自動切断の設定をする

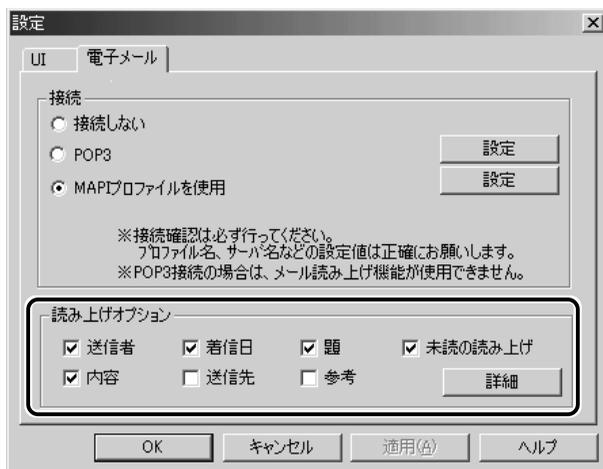
自動切断の設定をしていないと、新着メールチェックを行なった後、インターネットへの接続が切断されません。

ここでは、Outlook Express の場合について説明します。

- ① Outlook Express を起動する
- ② メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする
- ③ [接続] タブで [ダイヤルアップ] の [送受信が終了したら切断する] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ Outlook Express を終了する

7 [読み上げオプション] の設定をする

新着メールを開いたときに、チェックされている項目について音声で読み上げます。



- 8 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する
[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。
音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。

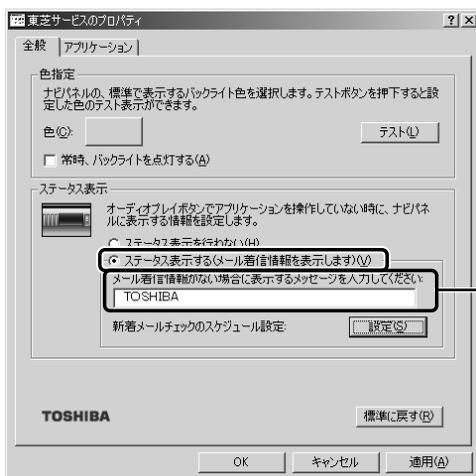


- 9 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

ナビパネルの設定

新着メールが届いていたら、ナビパネルに「新着メール XX 通」と表示されるように設定します。

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [東芝サービス] () アイコンをダブルクリックする画面が表示されます。
- 3 [全般] タブの [ステータス表示する] をチェックする



新着メールがない場合にナビパネルに表示する文字を入力します。

4 [OK] ボタンをクリックする

インターネットへの接続の設定

1 ACアダプタとモジュラーケーブルを接続する

参照  電話回線への接続 ⇨ 「2章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

2 [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする

3 [XXX (接続先)] アイコン () をダブルクリックする

4 [接続] 画面で、[パスワード] にパスワードを入力し、[パスワードの保存] と [自動的に接続する] をチェックする ()



5 【接続】 ボタンをクリックする

すぐに接続する必要がなくても、いちど【接続】ボタンをクリックして、設定を保存します。【キャンセル】ボタンをクリックすると設定は保存されません。

[×××× (接続先) に接続中] 画面が表示されます。

6 この時点でインターネットへ接続する必要がない場合、【キャンセル】ボタンをクリックする



【キャンセル】ボタンをクリックしない場合、インターネットに接続します。

7 【接続】画面を閉じる

パソコンを起動せずに新着メールチェックをする

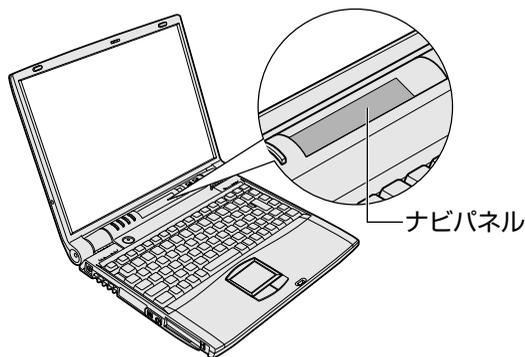
パソコンが起動していないときに、新着メールチェック機能を使うには、スタンバイ機能を実行するか、休止状態にしてください。

 参照 スタンバイ機能の実行、休止状態について

↳ 『パソコンの基本 2章 3 パソコンの使用を中断する』

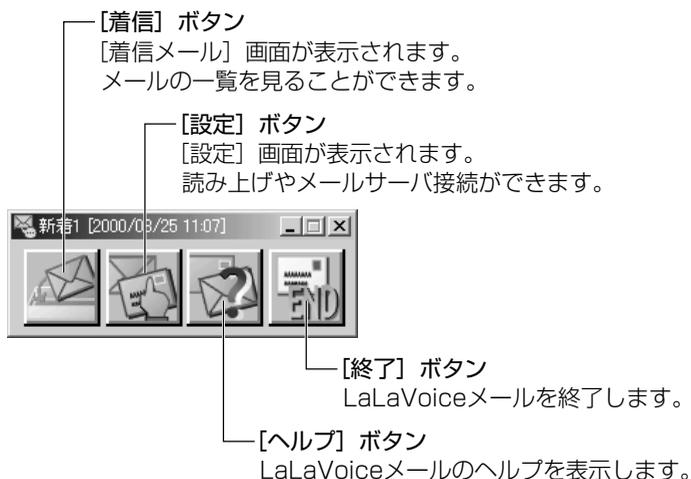
2 新着メールを確認する

設定したスケジュールに従って、新着メールチェックが行われます。
新着メールがあると、ナビパネルに「新着メール XX通」と表示されます。



パソコンの電源が入っていると、[新着] 画面が表示されます。
新着メール数を音声で知らせるように設定している場合は、新着メール数が読み上げられます。

 参照 新着メール数を音声で知らせる
↳ 「本節 1- メールチェックの接続環境を設定する」



「新着メール数だけを確認する」「新着メール数とメールの内容を確認する」
のどちらに設定しているかによって、この後の操作が異なります。

「新着メール数だけを確認する」に設定したとき

[新着] 画面のタイトルバーに新着メール数が表示されます。



新着メール数を確認したら、[終了] ボタン () をクリックし、[新着] 画面を閉じます。

メールの内容を見たい場合は、メールソフトを起動して送受信を行なってください。

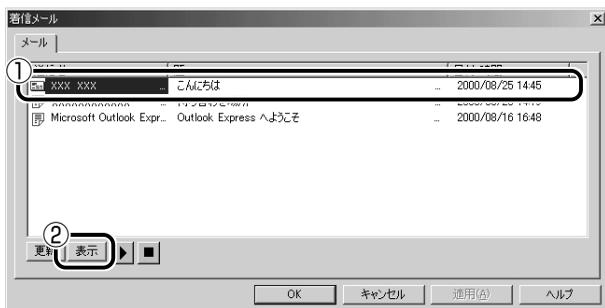
「新着メール数とメールの内容を確認する」に設定したとき

- 1 新着メールの内容をみたいときは [着信] ボタン () をクリックする

[着信メール] 画面が表示されます。

読み上げ機能を設定しているときは、メールの内容が読み上げられます。

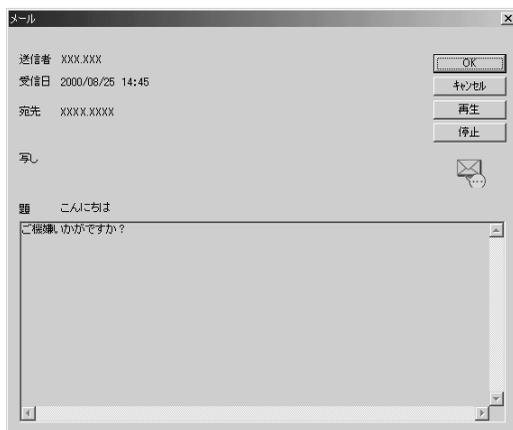
- 2 [着信メール] 画面で内容を確認したいメールをクリックし、[表示] ボタンをクリックする



[送信者] の横にあるマークは次のような意味があります。

-  以前開いたメール (開封済み)
-  読んでいないメール (未開封)

メールの内容が表示されます。



内容を確認したら、[OK] ボタンをクリックして閉じます。



- メールの内容の確認は、MAPI対応のメールソフトからも行えます。メールソフトを起動すると、新着メールが表示されます。LaLaVoice メールからメールの確認を行なった場合、すべての新着メールを既読にしてもナビパネルの「新着メール XX 通」の表示は消えません。Outlook Express など、お使いのメールソフトを起動すると表示が消えます。
- [着信メール] 画面とメールソフトでの操作は連動しており、どちらか一方でメールを開封済みにすれば、もう片方も開封済みになります。

3 メールの確認が終わったら、[着信メール] 画面で [OK] ボタンをクリックする

4 [新着] 画面で [終了] ボタン () をクリックする

3 新着メールチェックを停止する

新着メールチェック機能を一時停止する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの停止] をクリックする
アイコンが () に変わり、新着メールチェック機能を一時的に停止します。

新着メールチェック機能を再開する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの開始] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンが () に変わり、設定したスケジュールに従って新着メールチェックを再開します。

新着メールチェック機能を終了する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [終了] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンの表示が消えます。
この操作を行なったあと、再び新着メールチェック機能を使用したいときは、「本節 1 - [メール] アイコンをタスクバーに表示する (新着メールチェック機能を開始する)」をご覧ください。

4章 音楽と映像を楽しもう

- 1 音楽CDを聴く 174
- 2 音楽ファイルを聴く 180
- 3 オリジナル音楽CDを作る 187
- 4 DVD-Videoを観る (マルチドライブモデル) ... 195
- 5 オリジナルMDを作る 202

1

音楽 CD を聴く

音楽 CD を聴くには次の方法があります。

- Windows を起動して音楽 CD を聴く
- Windows を起動しないで音楽 CD を聴く

1 Windows を起動して音楽 CD を聴く

Windows を起動して音楽 CD を聴くためには、音楽 CD に対応したアプリケーションを起動します。

本製品には次のアプリケーションがインストールされています。

- ・ LIVE MEDIA PLAYER
- ・ Windows Media Player

LIVE MEDIA PLAYER

本製品では、Windows を起動しているとき、音楽 CD をセットすると、「LIVE MEDIA PLAYER」が自動的に起動し、再生が開始されます。

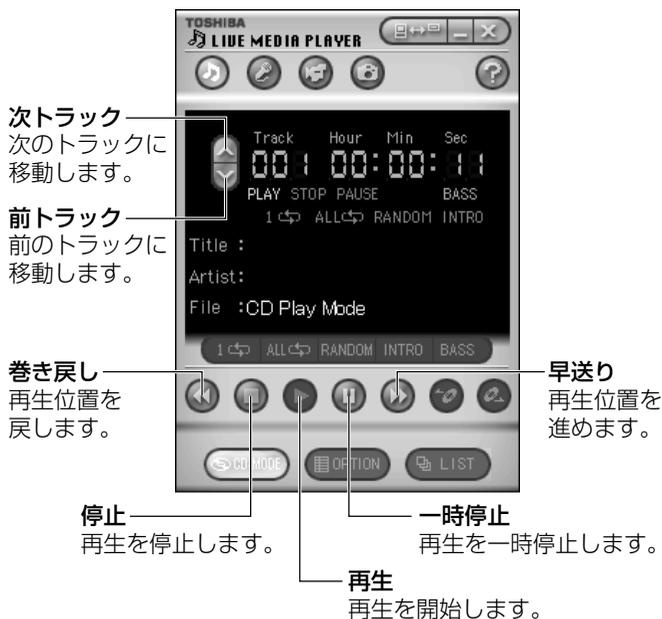
1 音楽 CD をセットする



CD のセット

➡ 『ハードウェアガイド 1 章 9-2 CD/DVD のセットと取り出し』

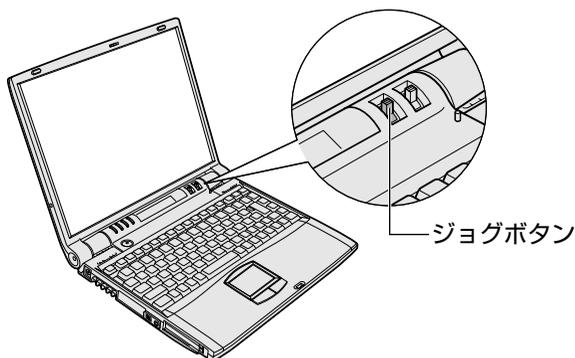
2 オーディオプレイボタン、または画面のアイコンで操作する [LIVE MEDIA PLAYER] の操作ボタンの役割は次のとおりです。



- メモ**
- 「LIVE MEDIA PLAYER」の使いかたについては、操作パネルの右上にある をクリックして、『LIVE MEDIA PLAYERのヘルプ』をご覧ください。
 - ナビパネルに「CD/DVD」を表示すると、オーディオプレイボタンで「LIVE MEDIA PLAYER」の操作ができます。

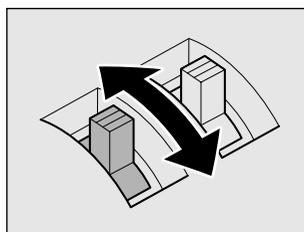
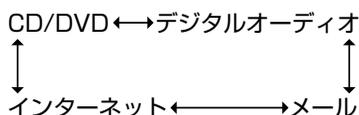
ジョグボタンで起動する

ジョグボタンを使ってアプリケーションを起動することができます。標準では「LIVE MEDIA PLAYER」が自動的に起動し、再生が開始されます。



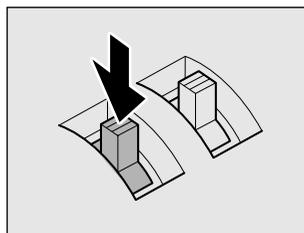
1 ジョグボタンを上または下に回す

ジョグボタンを回すたびに、次のようにナビパネルの表示が切り替わります。



2 「CD/DVD」が表示されたら、ジョグボタンを押す

「LIVE MEDIA PLAYER」が起動します。



- ジョグボタンを押したときに起動するアプリケーションを「Windows Media Player」に変更することができます。
- ナビパネルに「CD/DVD」を表示すると、オーディオプレイボタンで「LIVE MEDIA PLAYER」の操作ができます。



アプリケーションの変更

☞『ハードウェアガイド 1 章 2 ナビパネルとジョグボタン』

Windows Media Player

「Windows Media Player」でも音楽CDを再生できます。

1 [スタート] → [プログラム] → [Windows Media Player] をクリックする

2 画面のアイコンで操作する

[Windows Media Player] 画面の、アイコンの役割は次のとおりです。



- 再生/一時停止** 再生または一時停止します。
- 停止** 再生を停止します。
- ミュート** 音を消します。
- 音量** 音量を調整します。
- 前へ** 再生するトラックを1つ戻します。
- 次へ** 再生するトラックを1つ進めます。

(表示例)

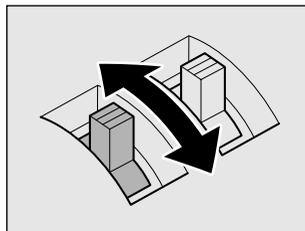
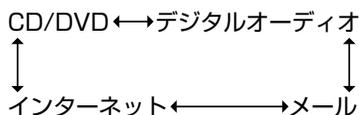
- メモ** ● 「Windows Media Player」の使いかたについては、メニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックして、『Windows Media Player のヘルプ』をご覧ください。

2 Windowsを起動しないで音楽CDを聴く

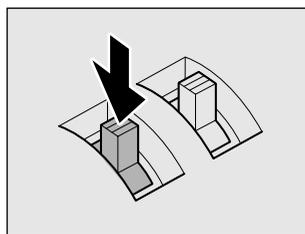
Windows を起動しないで音楽 CD を再生できます。オーディオプレイボタンを使って操作します。

休止状態の場合、同じ操作で音楽 CD を再生できます。

- 1 ジョグボタンを上または下に回す
ジョグボタンを回すたびに、次のようにナビパネルの表示が切り替わります。



- 2 「CD/DVD」が表示されたら、
ジョグボタンを押す
ナビパネルのバックライトが点灯します。



- 3 音楽 CD をセットする

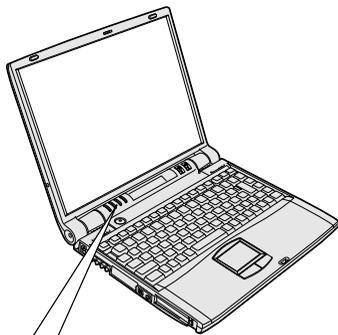
ドライブのイジェクトボタンを押すと、ディスクトレイが出てきます。

音楽 CD がセットされている場合は、再生が始まります。



- スタンバイ状態でジョグボタンを使用したときは、Windows が起動し、LIVE MEDIA PLAYER で再生が始まります。

4 オーディオプレイボタンで操作する



▶||| ボタン
再生します。
再生中にボタンを押すと一時停止します。
一時停止を解除するときはもう1度ボタンを押します。

■ ボタン
再生を停止します。もう1度押すとディスクトレイが開きます。

|||▶ ボタン
1つ先のトラックに進みます。

◀◀||| ボタン
1つ前のトラックに戻ります。
再生中に押すと、曲の頭に戻ります。

曲が切り替わるごとにナビパネルのバックライトの色が変わります。

5 終了する場合は、音楽 CD を取り出してからジョグボタンを押す



CD のセットと取り出し

➡ 『ハードウェアガイド 1 章 9-2 CD/DVD のセットと取り出し』

2

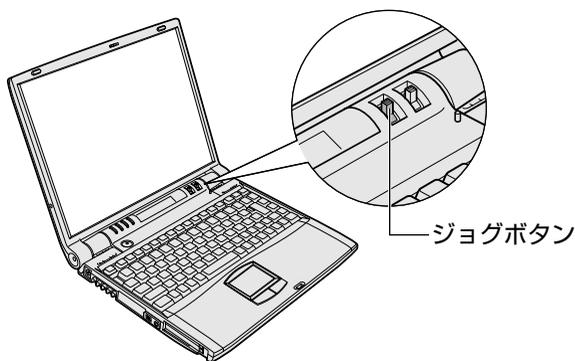
音楽ファイルを聴く

「LIVE MEDIA PLAYER」で次のような音楽ファイルを再生できます。

- WAVE 形式 (.wav)
- MIDI 形式 (.mid)
- MP3 形式 (.mp3) など

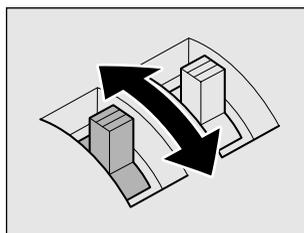
起動方法

ジョグボタンを使ってアプリケーションを起動することができます。標準では「LIVE MEDIA PLAYER」が自動的に起動し、再生が開始されます。

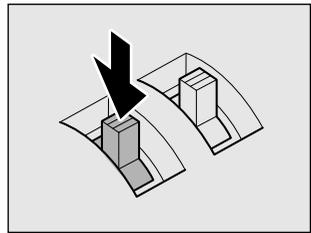


- 1** ジョグボタンを上または下に回す
ジョグボタンを回すたびに、次のようにナビパネルの表示が切り替わります。

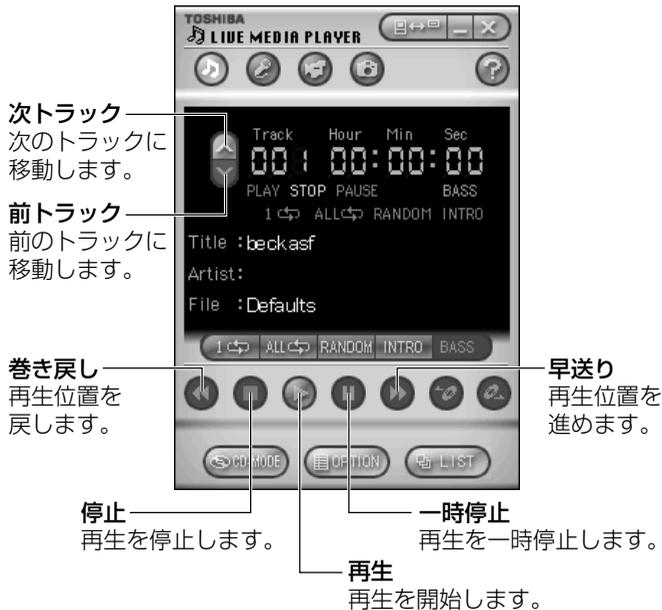
CD/DVD ↔ デジタルオーディオ
↑ ↓
インターネット ← → メール



- 2 「デジタルオーディオ」が表示されたら、ジョグボタンを押す
「LIVE MEDIA PLAYER」が起動します。



「LIVE MEDIA PLAYER」の操作ボタンの役割は次のとおりです。



- メモ**
- 「LIVE MEDIA PLAYER」の使いかたについては、操作パネルの右上にある をクリックして、『LIVE MEDIA PLAYERのヘルプ』をご覧ください。
 - ジョグボタンを押したときに起動するアプリケーションを「Windows Media Player」や「TOSHIBA Audio Manager」に変更することができます。
 - [My Music] にサンプル用の音楽ファイルが保存されていた場合、ファイルが再生されます。停止するときは ボタンをクリックします。
 - ナビパネルに「デジタルオーディオ」を表示すると、オーディオプレイボタンで「LIVE MEDIA PLAYER」の操作ができます。

再生する前に

まず、再生する音楽ファイルをご用意ください。音楽ファイルは、インターネットからダウンロードしたりアプリケーションを使って自分で作ることもできます。

また、次の方法で再生の準備をしてください。

● プレイファイルを作成しない場合

プレーヤーアプリケーションを起動する前に、「C:¥My Documents ¥My Music」に再生したい音楽ファイルをあらかじめ保存しておきます。

● プレイファイルを作成する場合

プレイファイルを作成します。作成方法は「本節 プレイファイルを再生する」をご覧ください。プレイファイルを作成したときは、「C: ¥My Documents ¥My Music」に保存されているファイルも、プレイファイルに登録されていないと再生できません。



- **プレイファイル** ● 好きな音楽を入れた任意のフォルダのこと。自由に作成し、名前を付けることができる。再生するプレイファイルの切り換えは「LIVE MEDIA PLAYER」の画面から簡単にできる。



- 各音楽ファイルは「1トラック」として扱われます。
● 音楽ファイルには、曲名やアーティスト名などの情報が記録されていることがあります。これらの情報がある場合は、画面上に表示します。

再生する

現在のトラックを再生する

- 1  ボタンをクリックする
再生を一時停止するには、 ボタンをクリックします。
再生を再開するには、もう1度  ボタンをクリックします。
- 2 再生を停止するには、 ボタンをクリックする

トラックを選択して再生する

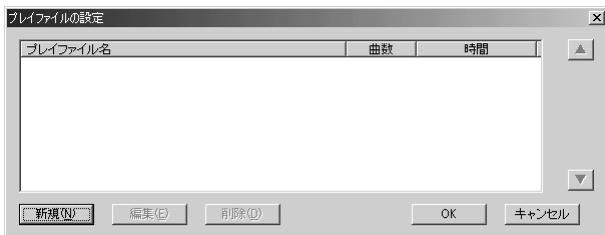
- 1  ボタンをクリックする
 ボタンをクリックすると次のトラックに移動します。
 ボタンをクリックすると前のトラックに移動します。
- 2  ボタンをクリックする

プレイファイルを再生する

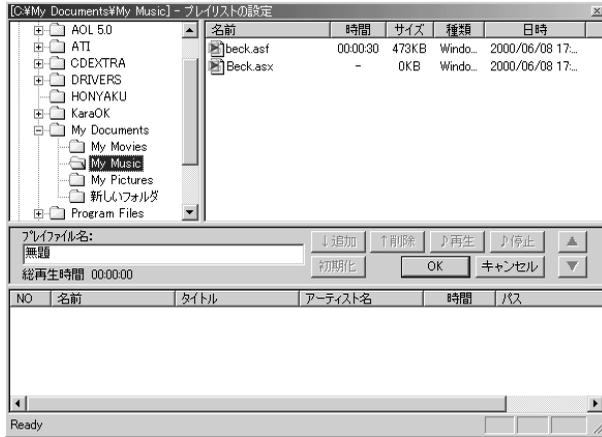
複数の音楽ファイルを集めてプレイファイルを設定することができます。それぞれのプレイファイルごとに、音楽ファイルを登録するプレイリストを設定します。プレイファイルは、1枚のMDやCDのようなイメージになります。

プレイファイルを作成する

- 1  ボタンをクリックする
[プレイファイルの設定] 画面が表示されます。



2 [新規] ボタンをクリックする



3 フォルダを選択する

画面左上のウィンドウから、リストに追加したい音楽ファイルがあるフォルダを選択します。

画面右上に、選択したフォルダにある音楽ファイルが表示されます。

4 音楽ファイルを登録する

画面右上から音楽ファイルを選択し、**追加** ボタンをクリックします。

登録したファイル順にトラック No. が割り当てられます。

登録を取り消す場合は、トラック No. を選択して **削除** ボタンをクリックします。

音楽ファイルの内容を確認するには、ファイルを選択して **再生** ボタンをクリックします。

トラックの順番を変更するには、トラック No. を選択して **▲** ボタンまたは **▶** ボタンをクリックします。

5 [プレイファイル名] を入力して、[OK] ボタンをクリックする

プレイファイルが作成されます。

作成後は [プレイファイルの設定] 画面から次のようなことができます。

- プレイファイルを編集する : プレイファイルを選択して、
[編集] ボタンをクリックする
- プレイファイルを削除する : プレイファイルを選択して、
[削除] ボタンをクリックする
- プレイファイルを無効にする : プレイファイル名の左側にある
チェックボックスのチェックをはずす
- プレイファイルの順番を変更する : プレイファイルを選択して、
▲ ボタンまたは ▼ ボタンをクリックする

プレイファイルを選択する

MD チェンジャや CD チェンジャで次のディスクを選択するように、プレイファイルを選択できます。

- 1  ボタンまたは  ボタンをクリックする
 -  ボタンをクリックすると、次のプレイファイルに移動します。
 -  ボタンをクリックすると、前のプレイファイルに移動します。

再生モードを切り替える

操作パネルの次のボタンをクリックすると、再生モードが切り替わります。

モードは操作パネルで確認できます。



プレイファイルは設定されている順番に再生されます。プレイファイルを作成している場合は、プレイファイルに登録されていないファイルは再生できません。

再生モード	ボタン	内容
NORMALモード	—	通常の再生を行います。
1 REPEATモード		現在選択されている曲を繰り返し再生します。
ALL REPEATモード		すべての曲を繰り返し再生します。
RANDOMモード	 *	ランダム再生を行います。
INTROモード		各曲の最初の部分を数秒ずつ再生します。

* 停止中のみ選択できます。

3

オリジナル音楽 CD を作る

本製品の CD-RW ドライブまたはマルチドライブを使用して、CD-RW / CD-R にデータを書き込むことができます。書き込みを行うためのアプリケーション Adaptec 社製「Easy CD Creator」を使用してオリジナルの音楽 CD を作成できます。

インストール方法

「Easy CD Creator」はあらかじめ本製品にはインストールされていません。

次の手順に従って、インストールしてください。

- 1 デスクトップ上の [CD-RW ライティングソフトのセットアップ] アイコン () をダブルクリックする
- 2 画面の指示に従って「Easy CD Creator」をインストールする
- 3 再起動する

CD-RW / CD-R に書き込む前に

CD-RW / CD-R に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえで使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗した CD-R の損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-RW / CD-R に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- CD-RW メディアに書き込む際には、1 / 2 / 4 倍速対応 (マルチスピード) CD-RW メディアをご使用ください。ハイスピード対応のメディアへの書き込みには対応しておりません。

- 次のメーカーのCD-RW / CD-R をご使用になることをおすすめします。
 CD-RW : 三菱化学 (株)、リコー (株)
 CD-R : 太陽誘電 (株)、TDK (株)、三井化学 (株)、三菱化学 (株)、
 リコー (株)、日立マクセル (株)
 上記以外のメーカーのCD-RW / CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。
- 必ず AC アダプタを接続して電源コンセントに接続してください。
 バッテリ駆動で使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。
- スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
- 「DirectCD」「Easy CD Creator」以外のCD-RW / CD-R 書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。



省電力機能について

▷ 『ハードウェアガイド 1 章 8-4 省電力ユーティリティを使う』

- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
- メモ** ● CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。

書き込みを行うときは

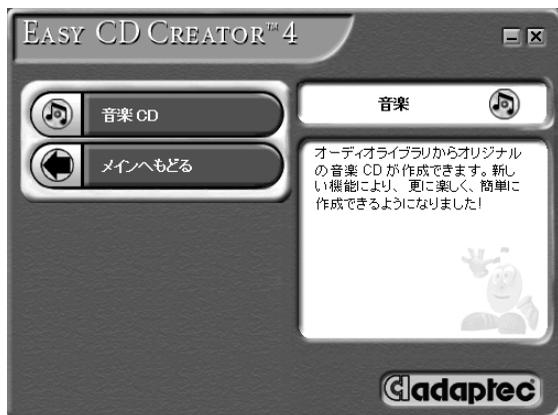
- タッチパッドを動かす、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け / 取りはずしを行わないでください。
 PC カード、USB 対応機器、i.LINK 対応機器、光デジタル対応機器

作成方法

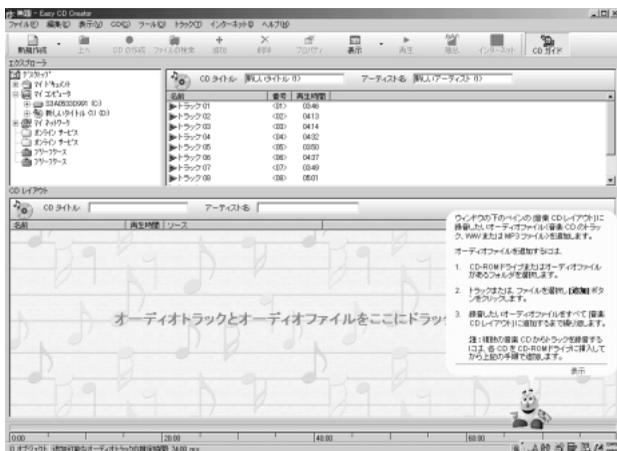
- 1 音楽CDをセットする
「LIVE MEDIA PLAYER」が起動して再生が始まります。
- 2 「LIVE MEDIA PLAYER」を終了する
- 3 [スタート] → [プログラム] → [Adaptec Easy CD Creator] → [CreateCD] をクリックする
メニュー画面が表示されます。



- 4 [音楽] をクリックする
次の画面が表示されます。



5 [音楽 CD] をクリックする 次の画面が表示されます。



- 6 CD-RW / CD-R に書き込みたい曲を選択して、ツールバーの [追加] ボタン () をクリックするか、下の [CD レイアウト] までドラッグする
- 複数の曲を選択する場合は、この操作を繰り返してください。
 複数の音楽 CD から曲を選択する場合は、音楽 CD を入れ替えてこの操作を繰り返してください。
 曲の順番は、ドラッグして入れ替えることができます。

CD レイアウト			
CD タイトル: 新しいタイトル (1)		アーティスト名: 新しいアーティスト (1)	
名前	再生時間	ソース	
1  トラック 03	04:14:22	新しいタイトル (1)	
2  トラック 08	05:01:43	新しいタイトル (1)	
3  トラック 11	00:56:22	新しいタイトル (1)	
4  トラック 04	04:32:28	新しいタイトル (1)	
5  トラック 07	03:49:50	新しいタイトル (1)	
6  トラック 10	05:58:35	新しいタイトル (1)	
7  トラック 02	04:13:13	新しいタイトル (1)	

7 メニューバーの「ファイル」をクリックし、表示されたメニューから「CD イメージの作成」をクリックする



次の画面が表示されます。

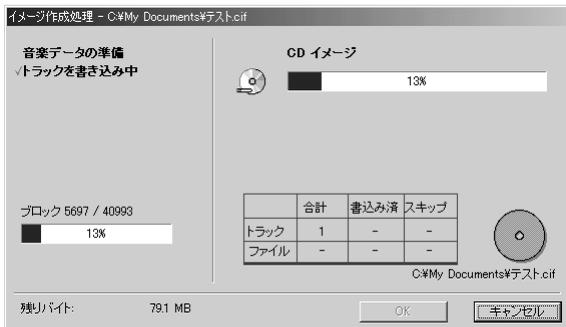


8 イメージファイルの保存先、ファイル名を指定し、「保存」ボタンをクリックする

次の画面が表示され、「CD レイアウト」の曲順に、選択した曲がハードディスクに取り込まれます。

複数の音楽 CD から曲を選択した場合は、音楽 CD を入れ替えるように画面が表示されます。

指示された音楽 CD を入れ替えて、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 9 すべての曲がハードディスクに取り込まれたら、[OK] ボタンをクリックする



- 10 フォーマットした CD-RW または未使用の CD-R をセットする

- 11 メニューバーの [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [CD イメージから CD を作成する] をクリックする



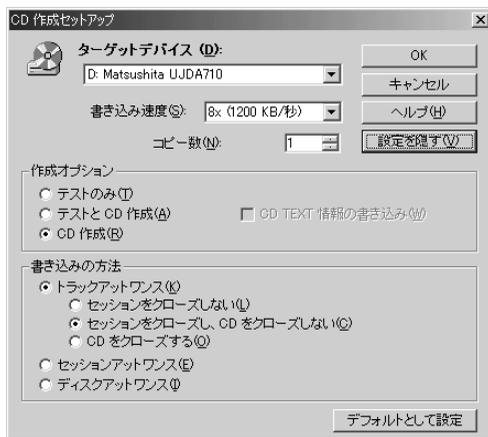
次の画面が表示されます。



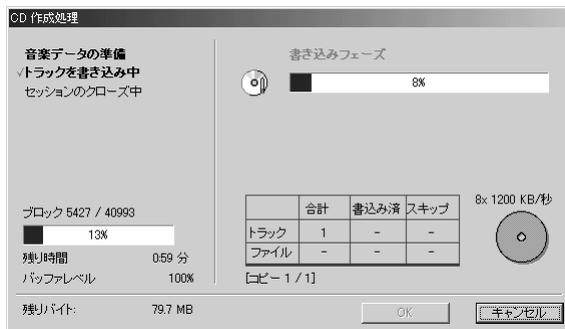
- 12 作成したイメージファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



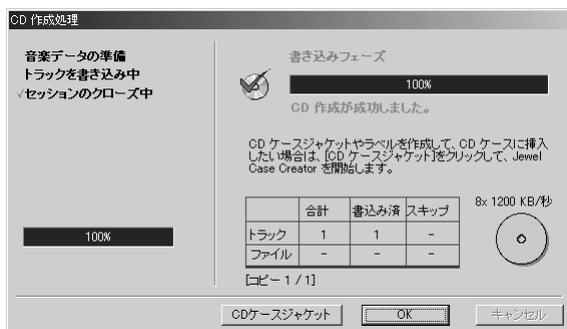
- 13 [高度な設定] ボタンをクリックする



- 14 設定を確認し、[OK] ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



15 CDが自動的にイジェクトされたら、[OK] ボタンをクリックする



- メモ** ● CDを作成して、必要がなくなったイメージファイルは、削除することをおすすめします。

4

DVD-Video を観る (マルチドライブモデル)

本製品のマルチドライブに DVD-Video をセットして、迫力ある映像を楽しむことができます。

DVD-Video 再生ソフトウェアとして、「InterVideo WinDVD」をご用意しています。

DVD-Video の再生について

「InterVideo WinDVD」で DVD-Video を再生する場合、次のことに気をつけてお使いください。

- DVD-Video 再生時は、AC アダプタを接続してください。また、使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちするケースがあります。
- DVD-Video を再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動しないでください。

その他のご注意については、「Readme」および「Release Note」に記載しています。

これらをよくお読みのうえ、DVD-Video をご使用ください。

「Readme」「Release Note」の起動

- 1 [スタート] → [プログラム] → [InterVideo WinDVD] → [Readme] または [Release Note] をクリックする



- DVD-Video 再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD の再生はサポートしていません。

「InterVideo WinDVD」を起動する

1 DVD-Video をセットする



DVD のセット

⇒ 『ハードウェアガイド 1 章 9-2 CD/DVD のセットと取り出し』

「InterVideo WinDVD」が起動します。

ジョグボタンで起動する

Windows が起動していないときに、ジョグボタンで「InterVideo WinDVD」を起動できます。

1 ジョグボタンを上または下に回す

2 「CD/DVD」が表示されたらジョグボタンを押す

3 DVD-Video をセットする

Windows が起動した後、「InterVideo WinDVD」で再生が始まります。

「InterVideo WinDVD」の操作ボタンの役割は次のとおりです。
再生する DVD-Video によっては、表示が一部異なる場合があります。
また、操作ボタンの一部は機能に対応している場合のみ使用できます。

ビデオ表示ウィンドウ

ツールバー

WinDVDプレーヤーのボタンと同じ機能があります。
詳細については、WinDVDプレーヤーの説明を参照してください。



メインウィンドウ
ビデオを表示します。

連続再生に設定されている場合、
連続再生中のマークが表示されます。
C：チャプタ繰り返し再生
T：タイトル繰り返し再生

再生中のディスクのタイプを表示します。



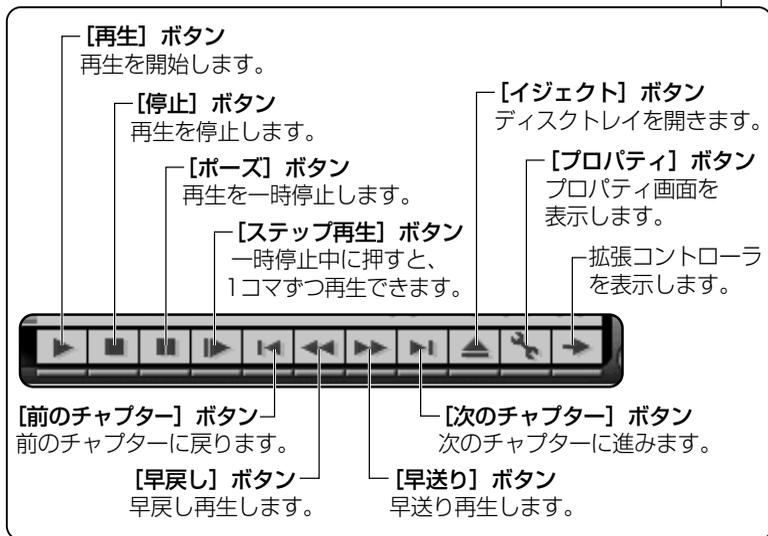
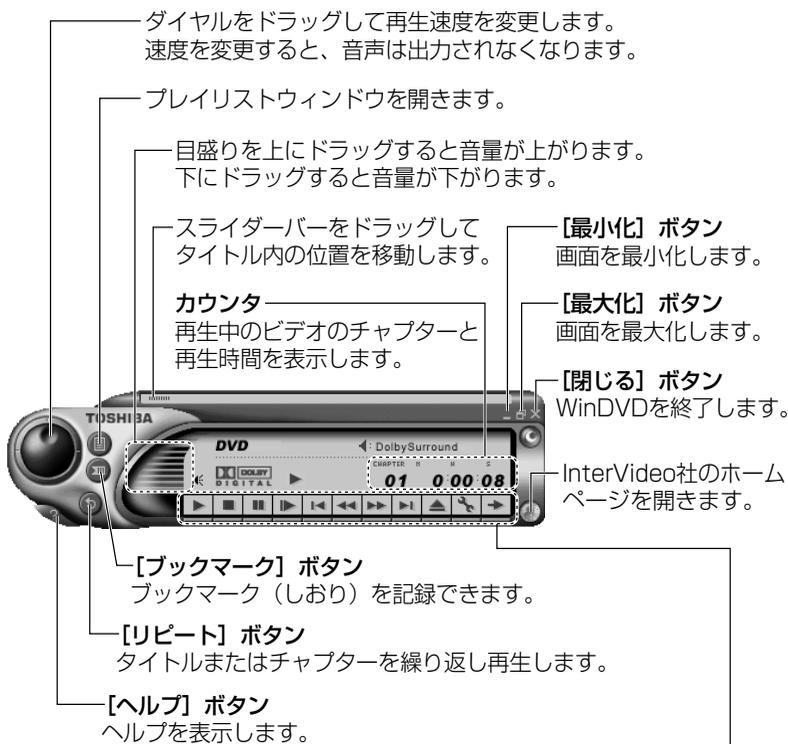
再生時間を表示します。

チャプター番号を表示します。

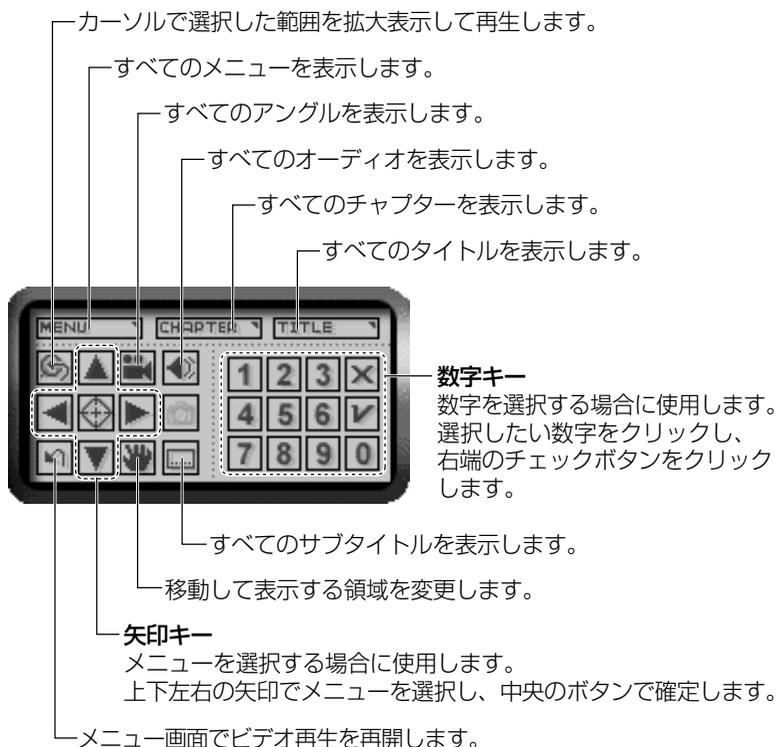
スライダーバーをドラッグして再生速度を変更します。
速度を変更すると、音声は出力されなくなります。

スライダーバーをドラッグしてタイトル内の位置を移動します。

WinDVD プレーヤー



拡張コントローラ



ヘルプの起動

- 1 ビデオ表示ウィンドウの [ヘルプ] ボタン (?) または WinDVD プレーヤーの [ヘルプ] ボタン (?) をクリックする

プロパティの設定

- 1 ビデオ表示ウィンドウの [プロパティ] ボタン () または WinDVD プレーヤーの [プロパティ] ボタン () をクリックする

[プロパティ] 画面が表示されます。
各タブで設定を行なってください。

テレビに表示する

パソコン本体にテレビを接続して、DVD-Video の再生画面をテレビに表示させることができます。テレビに表示するには、表示装置の切り替えが必要です。

表示装置の切り替えは、「InterVideo WinDVD」を起動する前に行なってください。

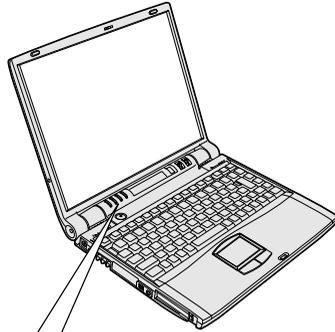
 参照  テレビの接続、表示装置の切り替え

☞ 『ハードウェアガイド 2 章 4 テレビを接続する』

オーディオプレイボタンで操作する

DVD-Videoの基本操作は、オーディオプレイボタンを使うこともできます。

オーディオプレイボタンを使用するときは、必ずナビパネルの表示を「CD/DVD」にしてください。

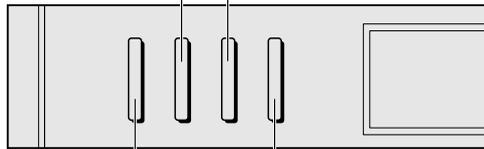


▶||| ボタン

再生します。
再生中にボタンを押すと一時停止します。
一時停止を解除するときはもう1度ボタンを押します。

■ ボタン

再生を停止します。



◀◀ ボタン

1つ前のチャプターに戻ります。
再生中に押すと、曲の頭に戻ります。

▶▶ ボタン

1つ先のチャプターに進みます。

5

オリジナルMDを作る

音楽CDからMDレコーダへの録音方法について説明します。

- 1 音楽CDをセットする
- 2 光デジタルオーディオ出力端子とMDレコーダを接続する
- 3 「LIVE MEDIA PLAYER」でプレイファイルを作成する
- 4 MDレコーダの録音ボタンを押す
- 5 「LIVE MEDIA PLAYER」でプレイファイルを再生する
MDレコーダに録音が始まります。



- 録音中はボリュームを操作したり、「ボリュームコントロール」の設定を変更しないでください。パソコンの再生音量を変更すると、MDレコーダでの録音レベルも変更されてしまいます。録音中にパソコン本体からの再生音を消したい場合は、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で [ヤマハ AC-XG] を起動し、[デジタル出力] タブの [アナログ出力の状態] で [アナログ出力を無効にする] に設定してください。元に戻したい場合は [アナログ出力を有効にする] に設定してください。

INDEX

(A)

Adobe® Acrobat® Reader 48

(B)

BCC 147

(C)

CC 147

(D)

DirectCD 43

DVD-Video を観る 195

DVD を楽しむ 44

DynaBook クイックスタート 36

(E)

Easy CD Creator 43

Eメール 114

(F)

Fn-esse 49

Fw : 137

(H)

HTML 形式 122

(I)

Internet Explorer 88

InterVideo WinDVD 44, 196

(K)

KaraOK! 52

(L)

LaLaVoice 49

LIVE MEDIA EDIT 45

LIVE MEDIA PLAYER
..... 42, 174, 181

LIVE MEDIA STILL 44

LIVE MEDIA VIDEO 45

LIVE MEDIA VOICE 49

(M)

MAPI 対応メールソフト 160

McAfee VirusScan 52

Mediapresso 46

Microsoft® Excel 2000 51

Microsoft® Internet Explorer 39

Microsoft® Outlook 2000 41

Microsoft® Outlook Express 40

Microsoft® Word 2000 51

Microsoft®/Shogakukan
Bookshelf® Basic 48

(O)

Outlook Express 116

(P)

PC 診断ツール 53

POP3 サーバ 115

PostPet 41

(R)

Re : 136

(S)

SMTP サーバ 115

(T)

The 翻訳インターネット 39

TOSHIBA Audio Manager 42

(U)

Ulead Photo Express 45

Ulead VideoStudio 46

(V)

V.90 70

(W)

Windows Media Player .. 42, 177

WWW 67

(ア)

アクセスポイント 69

アドレス 91

アドレス帳を使う 142

アプリケーションを削除する 62

アプリケーションを追加する 60

(イ)

以前に表示したホームページを
表示する 108

インストール 60

インターネット 66

インターネット接続を終了する 84

インターネットに接続する (1 回目)
..... 72

インターネットに接続する
(2 回目以降) 82

インターネットを始める 38

インターネットを見る 39

(エ)

駅すぱあと 47

エンターテイメント 51

(オ)

[お気に入り] から

ホームページを表示する 94

[お気に入り] に登録する 92

[お気に入り] を整理する 95

オリジナル CD を作る 43

オリジナル MD を作る 202

オリジナル音楽 CD を作る 187

音楽 CD を聴く 174

音楽ファイルを聴く 180

音楽を聴く 42

オンラインサインアップ 76

(カ)

海外で使う 40

顔付き MusicDance 51

簡単インターネット 38, 77

(キ)

起動したときに表示するページを
変更する 97

(ク)

声で入力する / パソコンが読み上げる
..... 49

(シ)

受信メールを見る 133

署名を入れる	149
新着メールチェック機能	157
新着メールをナビパネルで確認する	157

(ス)

スタートページ	97
スタートページに戻る	98

(セ)

静止画を編集する	44
----------------	----

(テ)

テキスト形式	122
てきぱき家計簿マム 2Plus/2000	48
電子メール	68, 114
電話回線への接続	74

(ト)

トーン	73
動画を編集する	45
東芝ネットメニュー	111

(ナ)

内蔵モデム用地域選択ユーティリティ	40
-------------------------	----

(ネ)

ネットニュース	68
---------------	----

(ハ)

パソコンをチェックする	52
パルス	73

(フ)

筆ぐるめ	47
ブラウザ	67
プレイファイル	182
プロアトラス 2001	47
プログラムファイルをダウンロードする	106
プロバイダ	66
プロバイダと契約する	76
文章／表を作る	51

(ホ)

ホームページの画像を壁紙に設定する	103
ホームページの画像を保存する ..	101
ホームページを検索する	90
ホームページを保存する	99
ホームページを翻訳する	39

(メ)

メールサーバ	115
メールで使える文字	148
メールに添付されたファイルを開く	153
メールにファイルを添付する	151
メールの続きを作成する	131
メールを書くのを一時的にやめる	130
メールを削除する	138
メールを作成する	128
メールを受信する	132
メールを整理する	140
メールを送信する	132
メールを使う	40
メールを転送する	136
メールを返信する	135

(モ)

文字化け	122
モジュージャック	76

(ヤ)

役立つソフト	47
--------------	----

(ユ)

ユーザ登録	86
-------------	----

(ヨ)

よく見るページを登録する （お気に入り）	91
-------------------------------	----

(リ)

履歴	108
----------	-----